



FREEDOM GUNDAM

Z.A.F.T. MOBILE SUIT ZGMF-X10A



1/100 scale MASTER GRADE Z.A.F.T. MOBILE SUIT ZGMF-X10A FREEDOM GUNDAM Ver.2.0



ザフト製モビルスーツ
ZGMF-X10A フリーダムガンダム Ver.2.0
1/100スケール
マスターグレードモデル

GUNDAM SEED

ZGMF-X10A FREEDOM GUNDAM 



ザフト製モビルスーツ
ZGMF-X10A フリーダムガンダム Ver.2.0
1/100スケール
マスターグレードモデル

BANDAI 2016 MADE IN JAPAN

※画像の完成品は、塗装してあります。

GUNDAM.INFO Search
www.gundam.info
バンダイホビーサイト www.bandai-hobby.net/
Any fees incurred by your access method and connection to the website are your own responsibility.
ホームページにアクセスする際の通信料等はお客様の責任となります。



0204883

ザフトMS開発経緯

ザフト製高機動型MSの開発

地球連合軍のMS開発。それは戦乱の激化とザフトの劣勢を意味した。この状況を打破するため、ザフトでは「質」で「数」を凌駕するハイエンドMS開発がスタートする。

ZGMF-X10A フリーダムガンダムはザフトが開発したMSである。開発には、ザフトが奪取した4機の「G」から得られた技術やデータも反映されている。本機最大の特徴は、ニュートロンジャマーキャンセラーの搭載により核動力の使用が可能となった点である。この機能により、フリーダムガンダムは突出した機動性を獲得したほか、ビームライフルをはじめとする複数のビーム系兵器の搭載と同時使用、さらにはPS装甲の常時稼働ができるようになったのである。これらの機能は当時のMSにはなかったもので、この点だけでもフリーダムガンダムの高い性能が窺い知れる。これに加えて、「マルチロックオンシステム」の搭載は、単機で多数の敵に対抗しうる性能を機体に与えたのだ。

こうした性能により「殲滅型対MS戦用MS」とも言われるフリーダムガンダムだが、最新技術の投入は制御系の複雑化を招き、コーディネイターの中でも反応速度と空間認識能力に秀でた者でなければ扱うことができないと判断された。しかし、スーパーコーディネイターであるキラ・ヤマトがパイロットとなったことで、その性能を完全に発揮したのである。



禁断の技術の復活

ニュートロンジャマーによる核の封印は、ザフトの戦略上、極めて重要な要因であった。しかし、単機で多数の敵を制圧するほどの戦闘力を持つ機体には、絶大なエネルギーが必要だった。そこで、ザフトはニュートロンジャマーキャンセラーによって、その封印を自ら解除する。再びもたらされた禁断の「力」——フリーダムガンダムはそうした矛盾を抱えた機体でもあった。

物量で勝る地球軍に対し、ザフトが戦局を有利に進めていた背景には、ニュートロンジャマーとMSの存在があった。特にMSの威力は絶大で、ニュートロンジャマー影響下の戦場においてザフトの優位を決定づけた最大の要因と言える。しかし、その状況に変化が訪れる。地球軍のMS開発である。

地球軍のMS開発を察知したザフトは、ヘリオポリスから4機の「G」を奪取。これらの機体はザフトに「PS装甲」と「MS用ビーム兵器」という技術的恩恵をもたらした。しかし、一方でこれまでMSという兵器の「質」で優位に立っていた

ザフトが、今後は兵器の「数」の面で劣勢に立たされるという事実が明らかとなったのである。近い将来、起こりうるこの状況に対応するため、ザフトはパトリック・ザラの指示のもと、新型機の開発をスタートさせた。しかし、「数」を凌駕する「質」を有する機体を開発することは、MS開発に一日の長があるザフトであっても困難であった。そこで、ザフト技術陣は当時、実用化の目途が立っていたニュートロンジャマーキャンセラーの搭載を決定する。こうして、秘密裡に完成した機体は、「フリーダム」ガンダムと名付けられ、パトリック・ザラのナチュラル殲滅の旗印となるはずであった……。



ザフト軍が奪取した4機の「G」

GAT-Xシリーズ
地球軍が開発したMSシリーズ。MS用ビームライフルやPS装甲を標準装備する。フレームごとに異なる特性を有する。5機開発されたうち、4機がザフトに奪取される。

フリーダムガンダム 開発経緯

地球軍が開発したMSと、ザフトが実用化していたニュートロンジャマーキャンセラーがフリーダムガンダムの根幹を成す技術と言える。総合性能に優れた本機のデータは、後継機の開発を促し、さらなる高性能機を生み出す下地となった。

フリーダムガンダムはザフトの統合設計局（ハインライン、アジモフ、クラークの主要設計3局がメイン開発時に統合されてきたもので、統合3局とも言われる）が開発を担当した。開発にあたっては地球軍から奪取した4機の「G」系兵器のデータが反映された。ニュートロンジャマーキャンセラーの搭載がどの段階で決まったのかは不明だが、これがなければルプス・ビームライフルをはじめとする兵器や、PS装甲の搭載は事実上不可能で、本機が現在とは異なる仕様となっていた可能性もある。

結果として完成したフリーダムガンダムの性能は広く知られる通りである。しかし、戦後締結された「ユニウス条約」によってニュートロンジャマーキャンセラーのMSへの搭載は禁止、このため後継機の開発も暗礁に乗り上げたかと思われた。プラントでは秘密裡にニュートロンジャマーキャンセラー搭載型MSの研究が継続されていたが、そのデータはクライン派に奪取されている。クライン派はそのデータにセカンドステージシリーズやフリーダムデータの反映し、ZGMF-X20A ストライクフリーダムガンダムを完成させたのである。

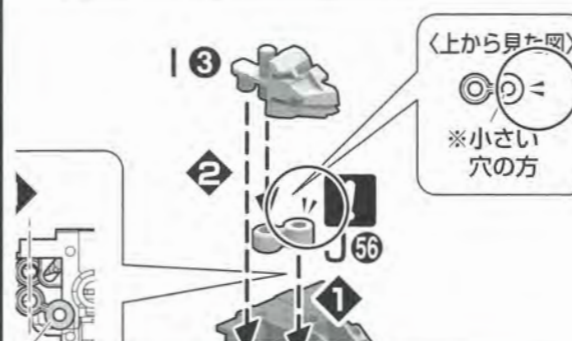
フリーダムガンダムは、MA-M20 ルプス・ビームライフルやM-100 バラエーナ・プラズマ収束ビーム砲、MMI-M15 クスィフィアス・レール砲をはじめとする複数の大出力兵器の装備と同時使用が可能であった。当初、ルプス・ビームライフルとバラエーナ・プラズマ収束ビーム砲は、ゲイツ改で試験が行われたが、前者はPS装甲と併用した場合、機体の稼働時間が10分程度、後者は2射した時点で機体が停止するという問題が発生。このため、採用の見送りが検討されたが、ニュートロンジャマーキャンセラー搭載によりフルスペックでの運用が可能となった。これに対し、クスィフィアス・レール砲は、ジンの装備である「シヴァ」などでの技術成熟と、対艦用兵器といった有用性もあって搭載されている。また格闘兵器であるMA-M01 ラケルタ・ビームサーベルは地球軍製のものよりも高出力なうえ、柄に連結機構を付与することで格闘戦能力の向上に繋がった。また、防御の面では本体のPS装甲に加え、ラミネートアンチビーム装甲によって、ビーム兵器に対しても高い防御力を獲得するに至ったのである。



組み立て前の基本説明

部品の向きに注意してください

※組み立て図中にVのついている部品は、形状や向きに注意して組み立ててください。



ガンダムデカールの貼りかた

① ガンダムデカールは、転写するマークを保護シートと一緒にマークより大きめに切り出してください。

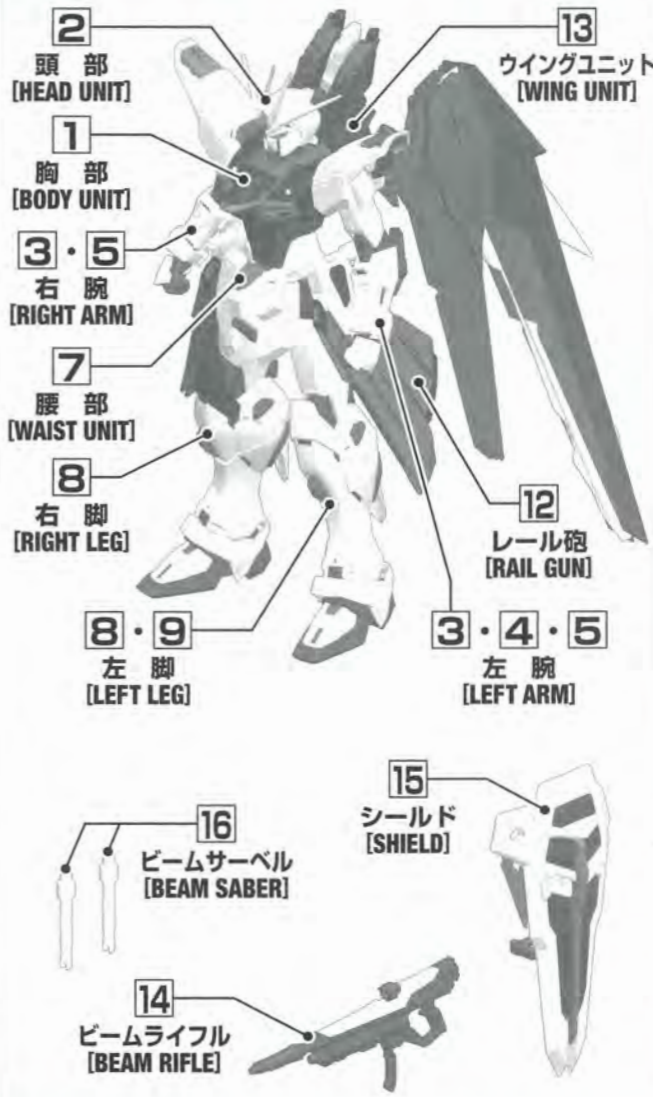


② 保護シートをはがし、貼る位置を決めてから、ずれないようにセロハンテープ等で固定し、マークの上からボールペン等の先端の丸い物でこすりつけて定着させます。

③ シートを静かにはがし、デカールが定着していない部分が残った場合はシートを元に戻し、その部分を再度こすりつけます。

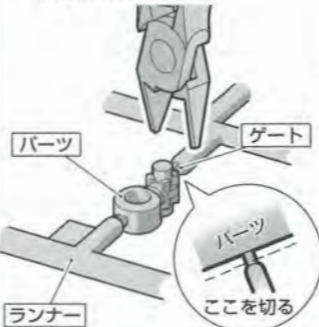
※デカールを貼り間違えた場合は、セロハンテープ等ではがしてください。

説明書をよく読んで完成させましょう

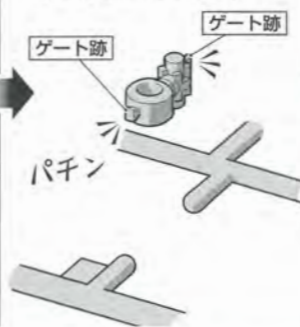


パーツの切り取りかた

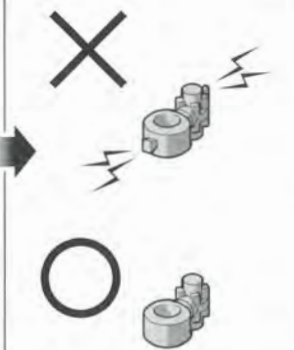
① まず、パーツから少し離れた位置にニッパーの刃を入れて切り取ります。



② パーツを切り離して持ちやすくしたところでゲート跡の処理に入ります。



③ ニッパーの刃をパーツに密着させてゲートを切り取れば、きれいに仕上がります。



△ 注意

お買い上げのお客様へ必ずお読みください。

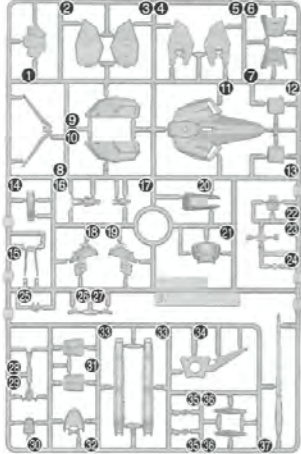
- 本商品の対象年齢は15才以上です。対象年齢未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 小さな部品がありますので、小さなお子様が誤って飲み込まないように注意してください。窒息などの危険があります。
- ビニール袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- 尖った部分や鋭い部分がありますので、取り扱いや保管場所に注意してください。思わぬケガをする恐れがあります。

〈組み立てる時の注意〉

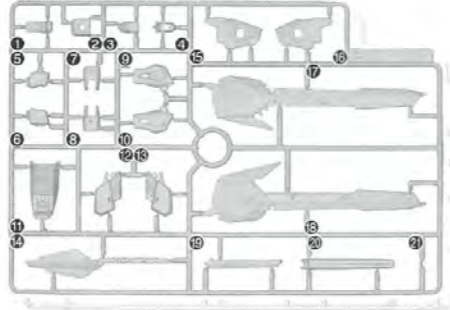
- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の加工の際の刃物、工具、塗料、接着剤などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
- 塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
- 尖った先端や薄い縁端部に触れながらの組み立てには十分ご注意ください。

パーツリスト

Aパーツ(イロブラ)
(スチロール樹脂: PS)



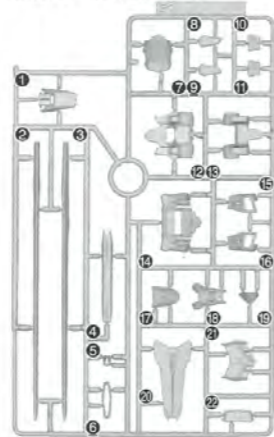
Bパーツ(ホワイト) (×2)
(スチロール樹脂: PS)



Cパーツ(ホワイト) (×2)
(スチロール樹脂: PS)



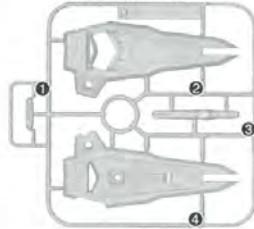
E1パーツ(ダークブルー)
(スチロール樹脂: PS)



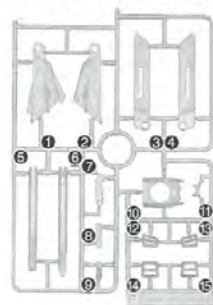
E2パーツ(ダークブルー)
(スチロール樹脂: PS)



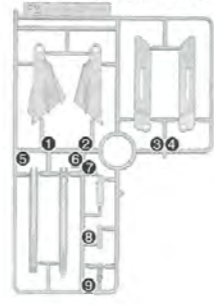
Dパーツ(ホワイト)
(スチロール樹脂: PS)



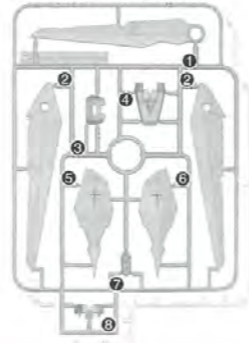
F1パーツ(ライトグレー)
(スチロール樹脂: PS)



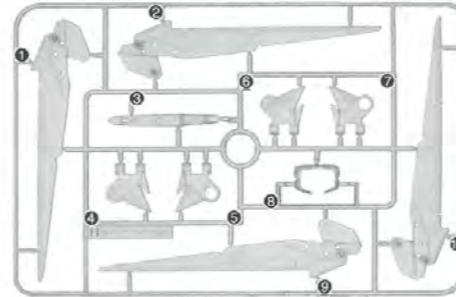
F2パーツ(ライトグレー)
(スチロール樹脂: PS)



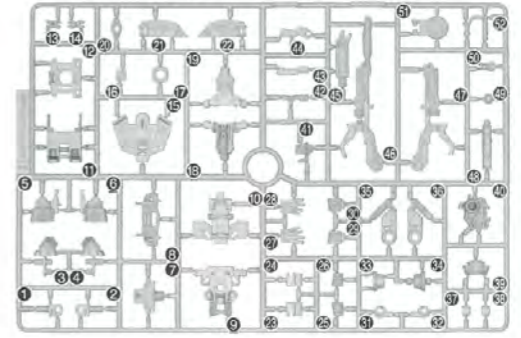
Gパーツ(ブルー) (×2)
(スチロール樹脂: PS)



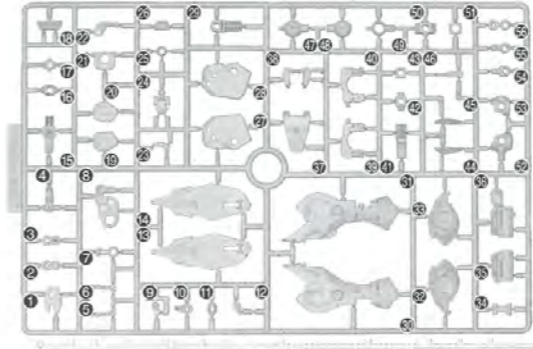
Hパーツ(ブルー) (スチロール樹脂: PS)



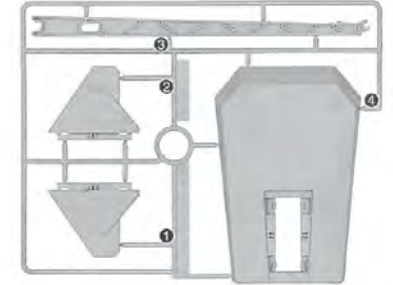
Iパーツ(グレー) (スチロール樹脂: PS)



Jパーツ(グレー) (×2)
(スチロール樹脂: PS)



BA2パーツ(ブラック) (スチロール樹脂: PS)



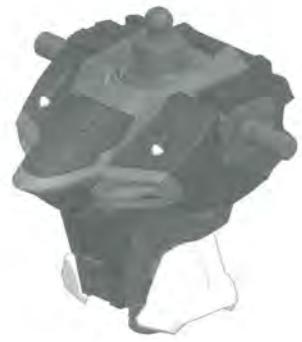
SB1パーツ(クリアピンク)
(スチロール樹脂: PS)



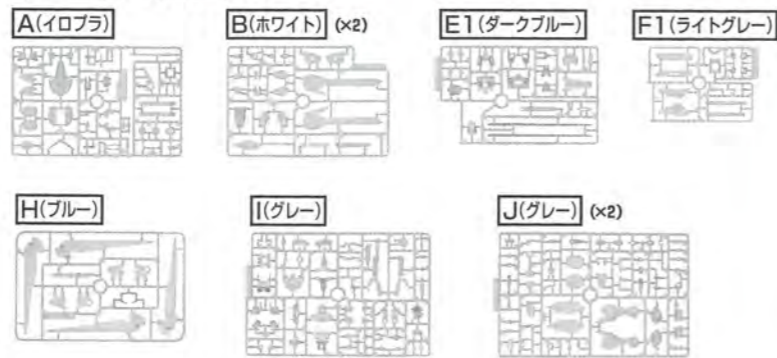
※クリアパーツの中には、製造工程上気泡が入っているものがありますがご了承ください。

カラーシール……………1枚
マーキングシール……………1枚
ガンダムデカール……………1枚

1 BODY UNIT

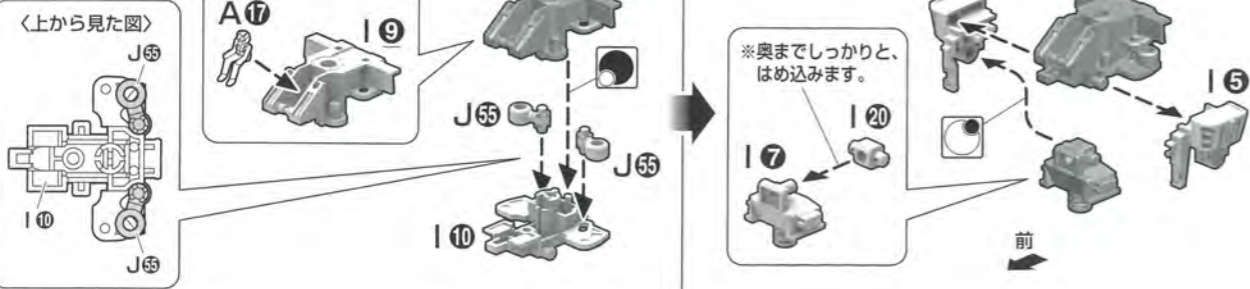


・組立1で使用するパーツ

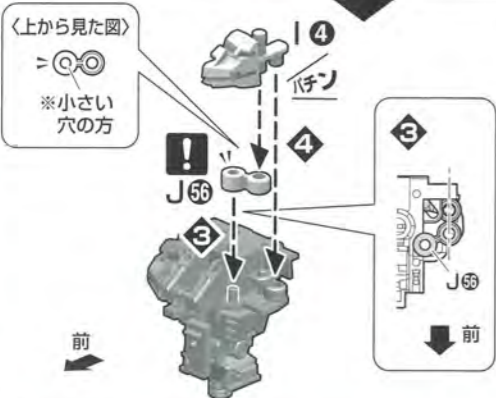
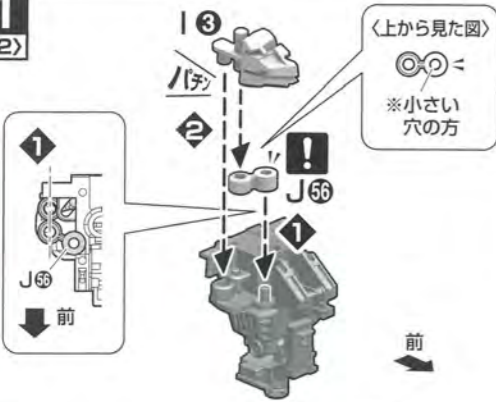


1 (胸部の組立)

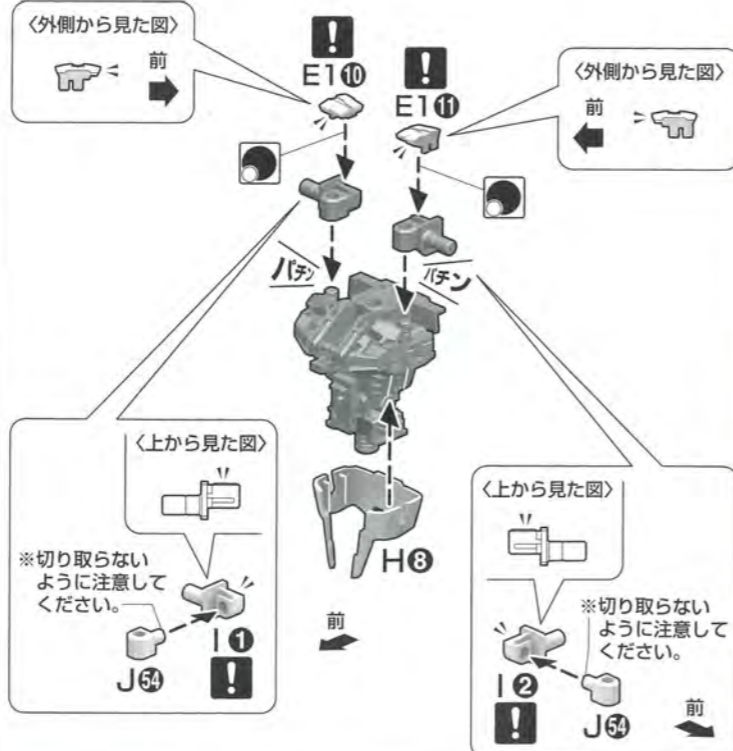
1 (1) BODY UNIT



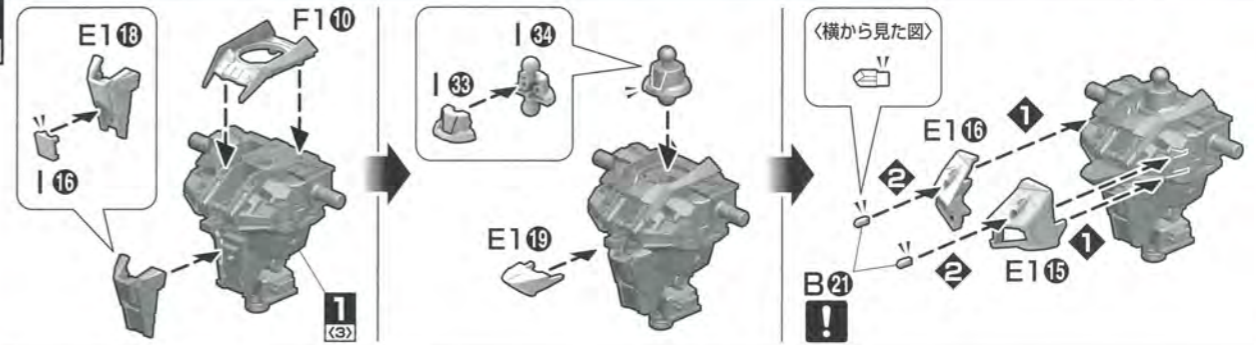
1 (2)



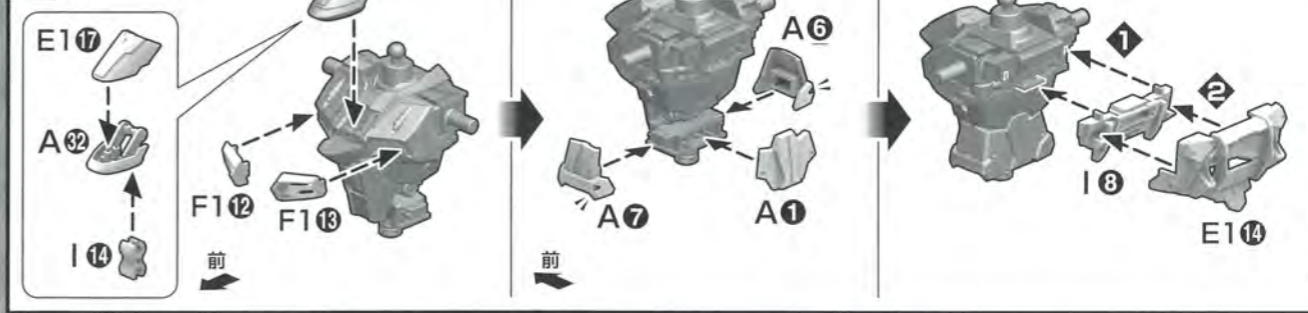
1 (3)



1 (4)



1 (5)



2 HEAD UNIT

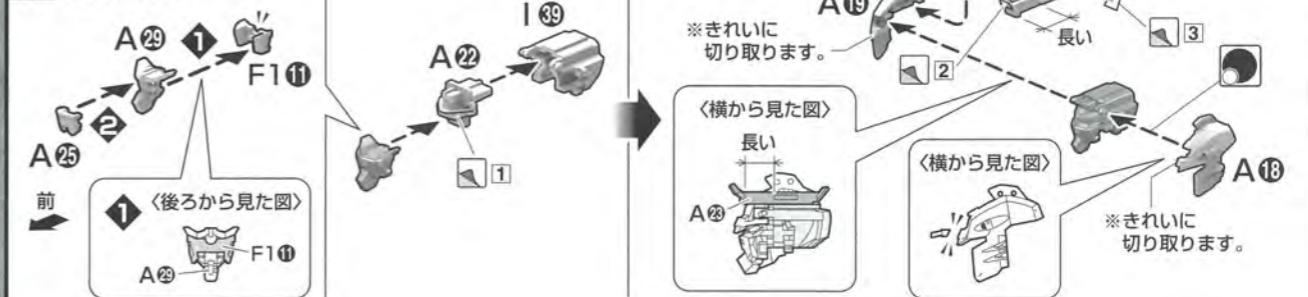
・組立2で使用するパーツ



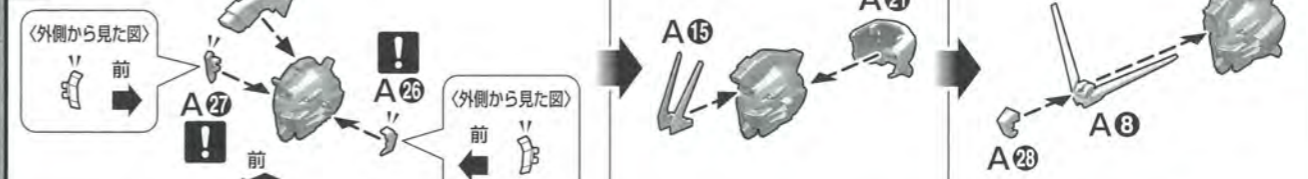
・カラーシール

2 (頭部の組立)

2 (1) HEAD UNIT

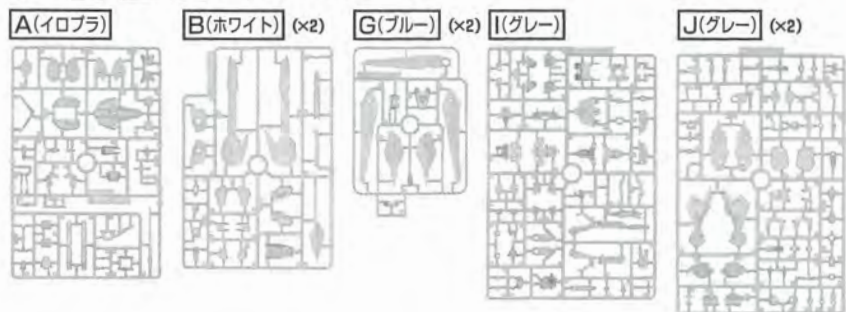


2 (2)

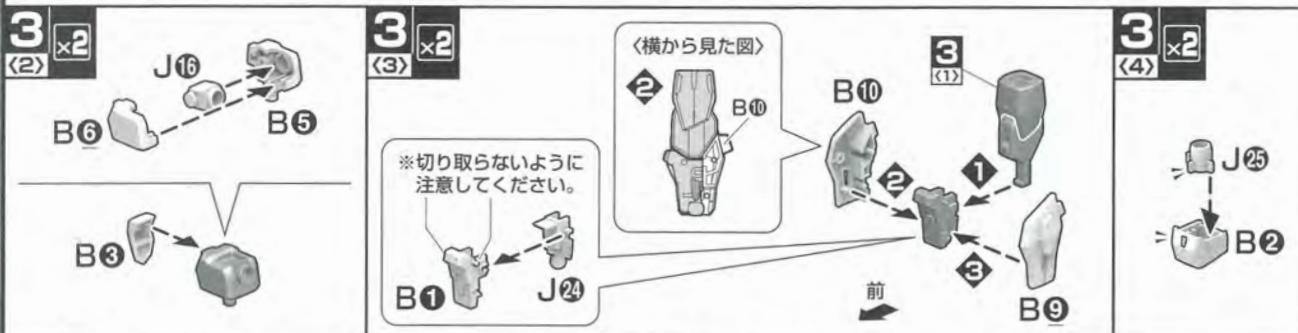
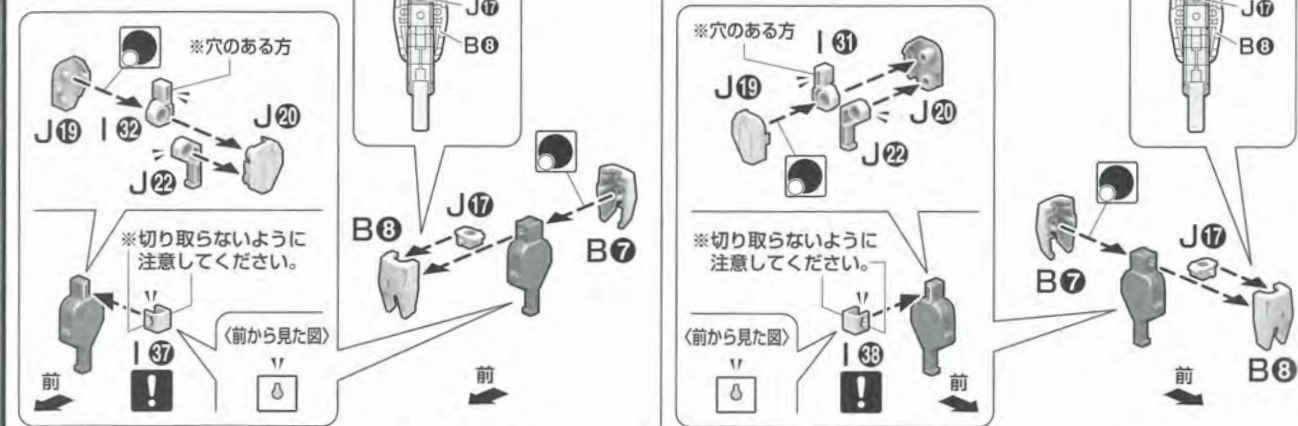


3 4 5 ARM UNIT

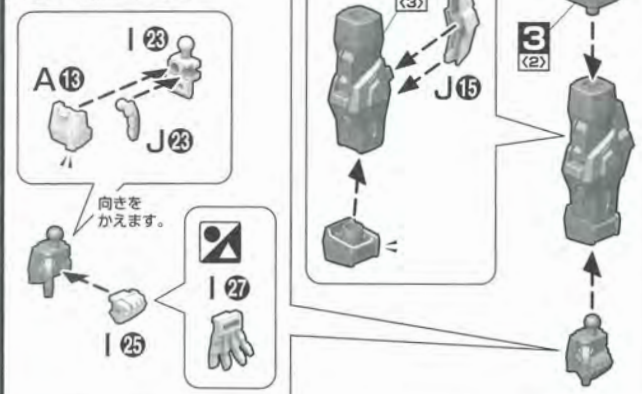
・組立3・4・5で使用するパーツ



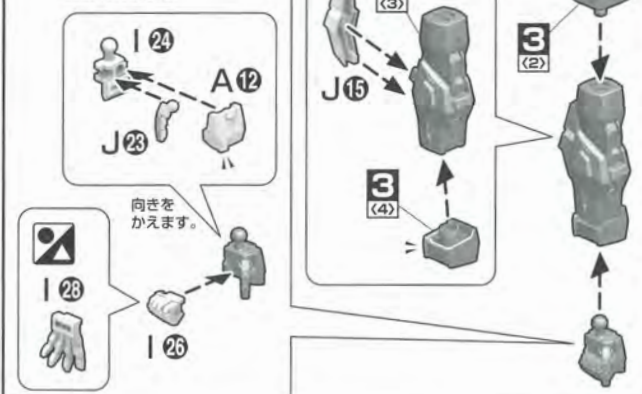
3 (腕部の組立) ARM UNIT



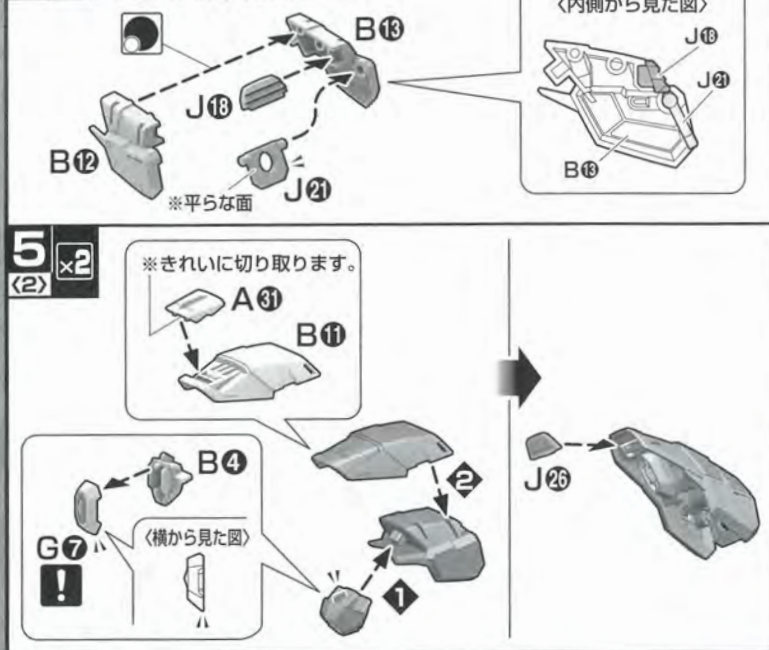
3 (右腕の組立) RIGHT ARM



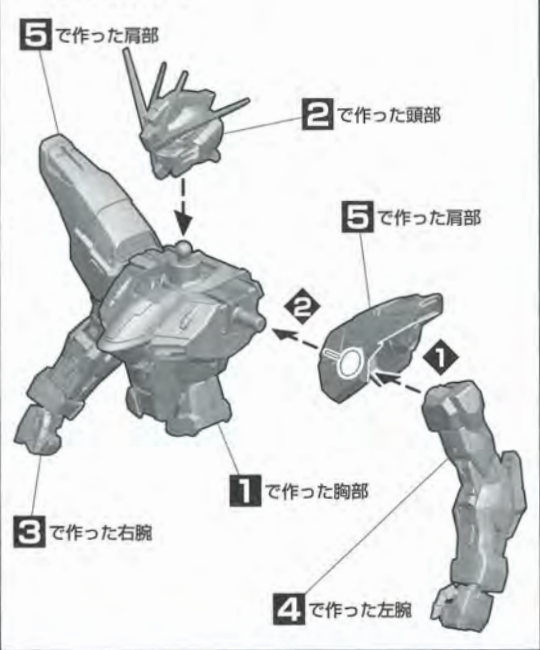
4 (左腕の組立) LEFT ARM



5 (肩部の組立) SHOULDER ARMOR

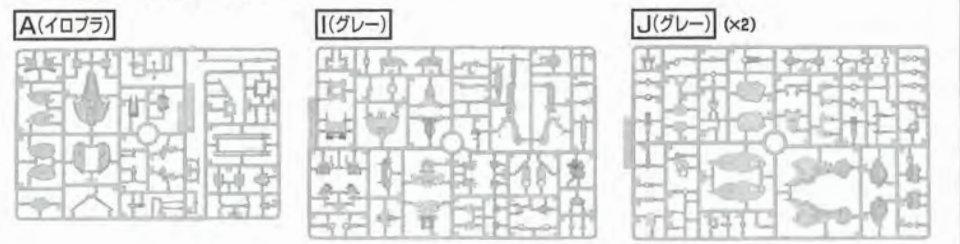


6 (上半身の完成) UPPER BODY

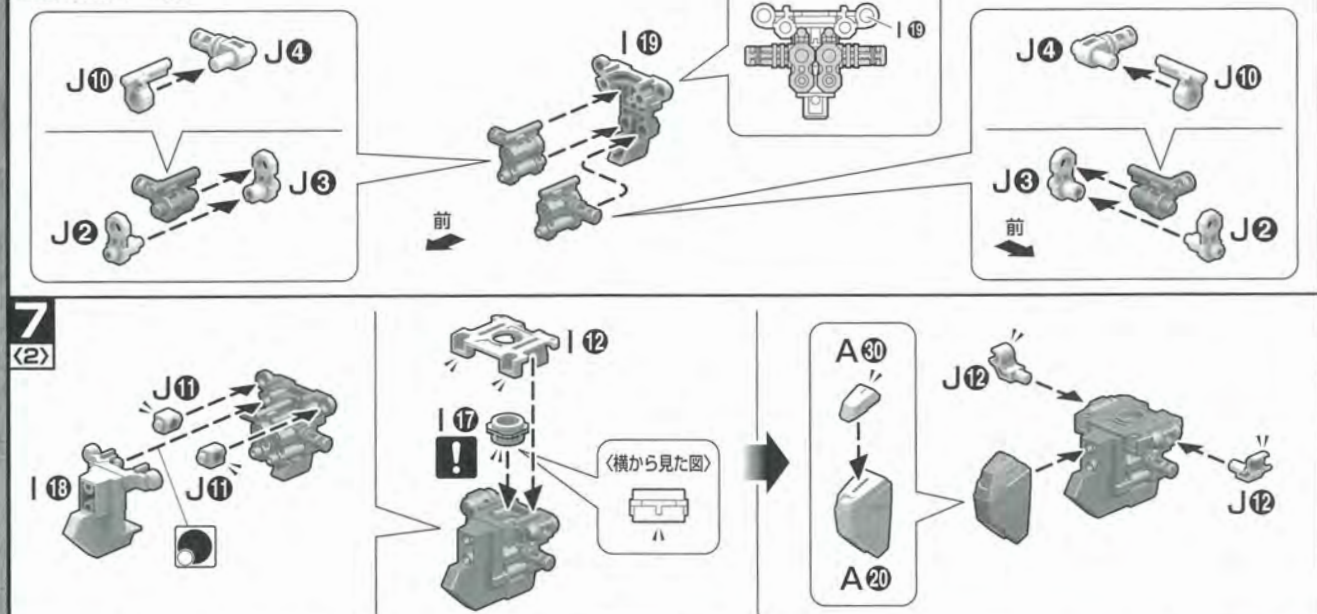


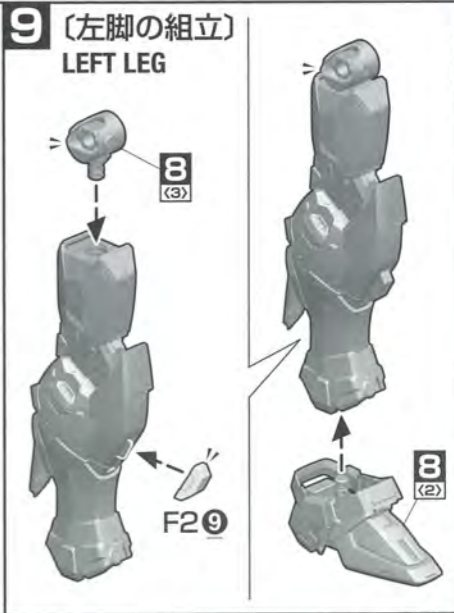
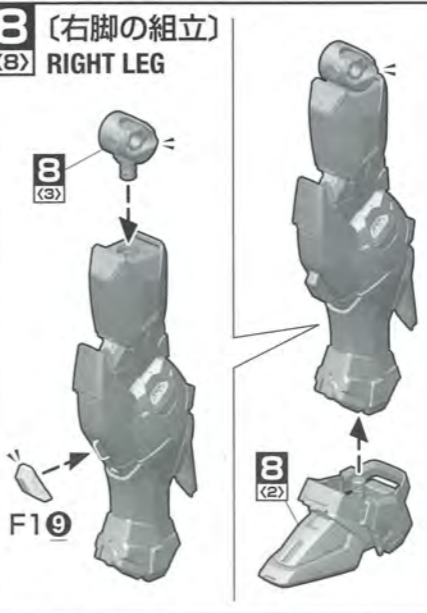
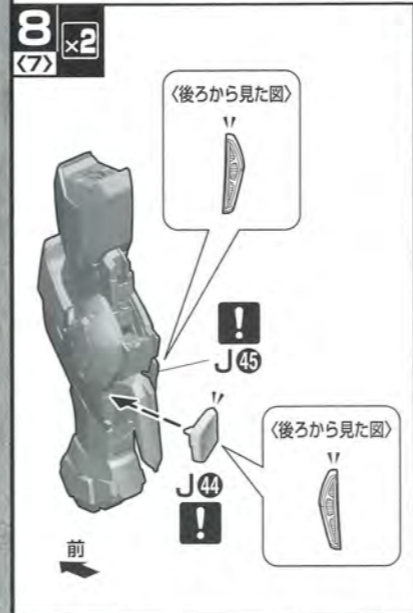
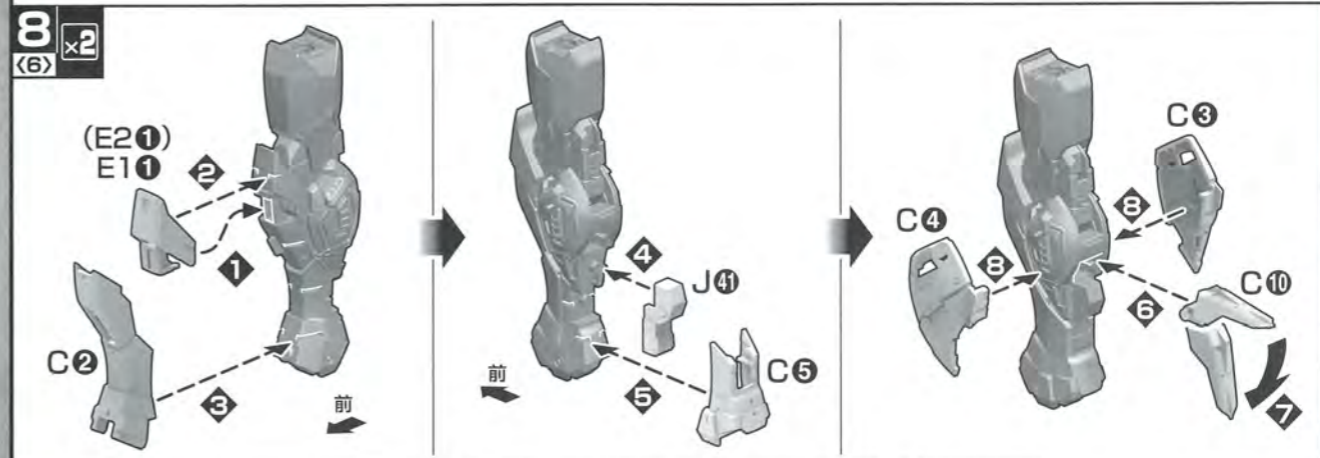
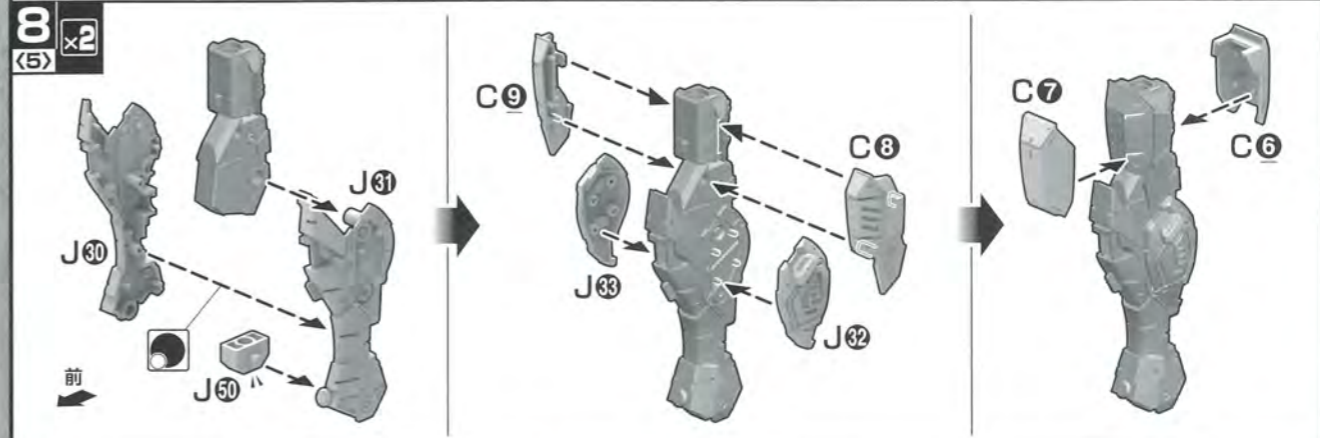
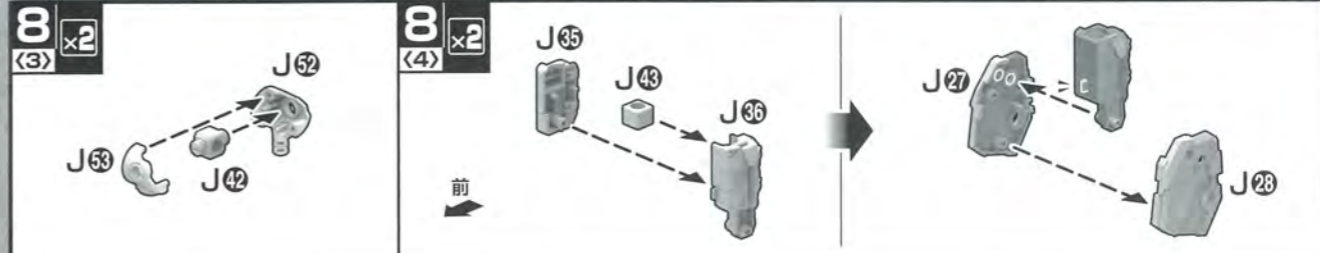
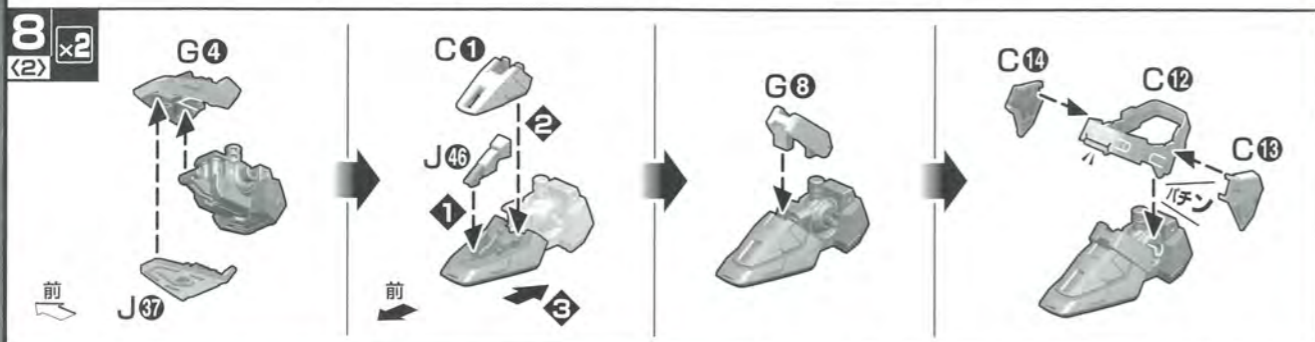
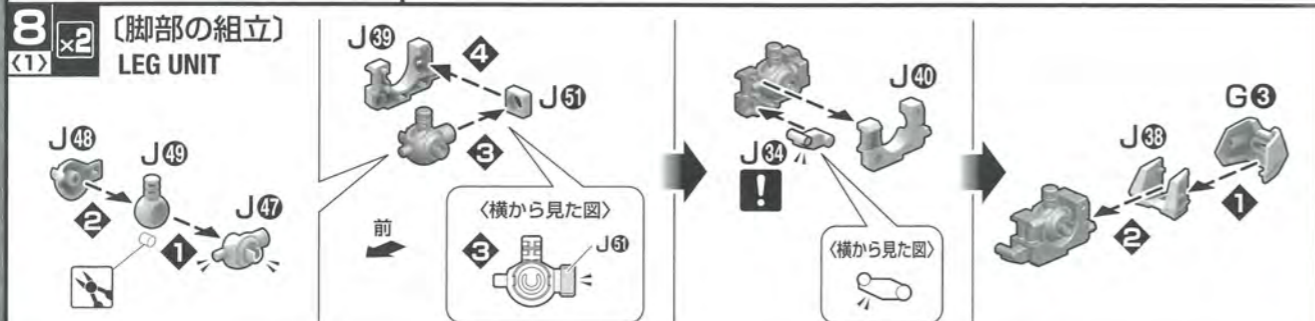
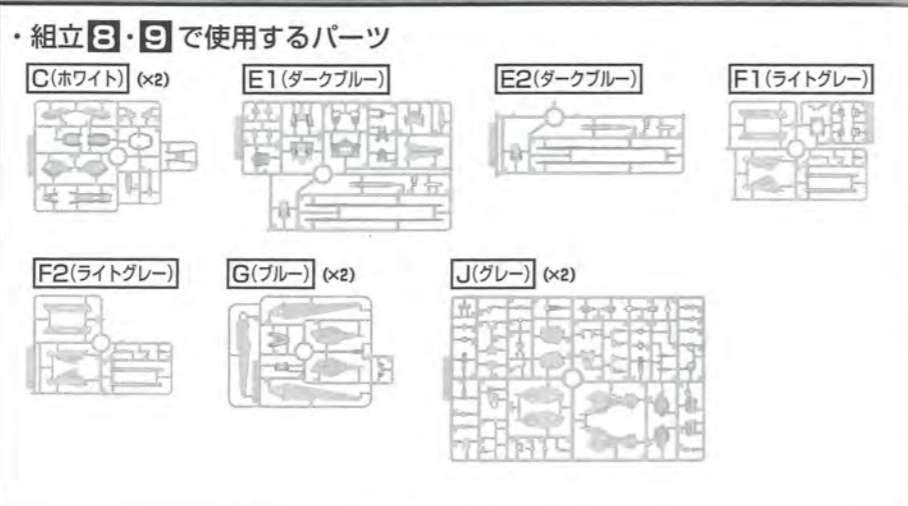
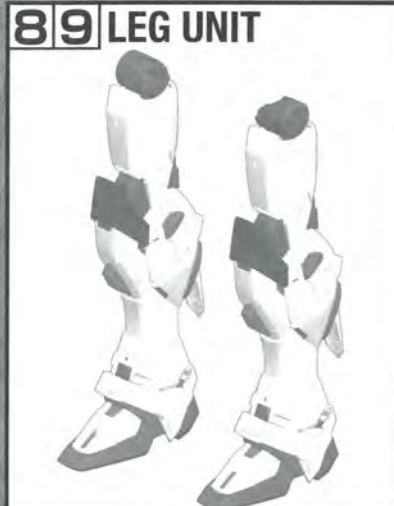
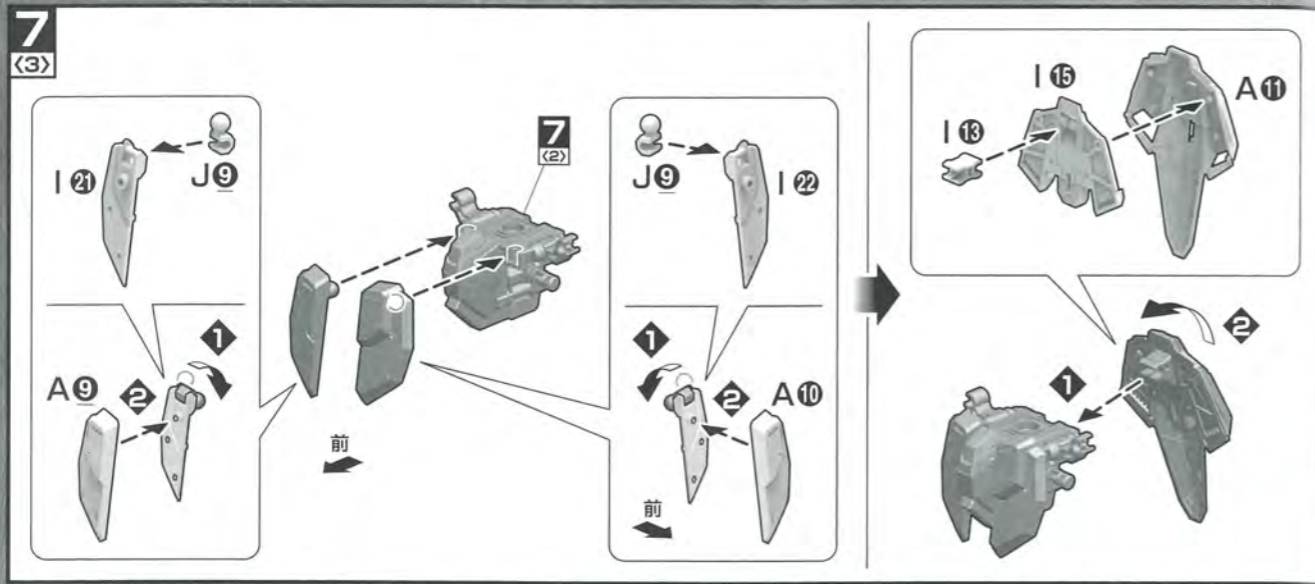
7 WAIST UNIT

・組立7で使用するパーツ



7 (腰部の組立) WAIST UNIT





MS Tracks in C.E. (ユニウスの軌跡)

The Descending Sword (舞い降りる剣(つるぎ))

「想いだけでは……。力だけでは……」
与えられた新たな機体——フリーダムガンダムのコクピットの中で、ラクスと言葉を繰り返すキラ。彼はプラントを離脱すると、地球で戦う仲間のもとへと赴くのだった。

地球では、「オペレーションスピットブレイク」を発動したザフトが、地球連合軍アラスカ基地<JOSH-A>に殺到、激戦が続けられていた。守備隊と共に基地防衛の任に就いていたアークエンジェルだったが、圧倒的な敵の数に劣勢に追い込まれつつあった。防衛網を突破した敵MSが銃口を艦橋に向けたその時、上空から一条の閃光と共にフリーダムガンダムが降下してきたのである。

周囲に展開する敵をマルチロックオンシステムによるフルバーストで撃破すると、キラはアークエンジェルのクルーに退艦を促す。しかし、サイクロプスによる基地の自爆が計画されていることを知ると、彼は味方だけではなく敵部隊にも戦域からの離脱を呼びかける。そしてキラは戦闘を停止させ、これ以上の犠牲を出さないために戦いへと身を投じるのだった。それは彼の新たな決意の表れでもあった。



Nightmare (悪夢) 機動戦士ガンダムSEED DESTINY PHASE-34

第三勢力として活動するアークエンジェルを危険分子と判断したザフトは、同艦を撃破するため、「エンジェルダウン作戦」を実施した。敵の追撃中、オーブへと急ぐアークエンジェルとフリーダムガンダムの前に、インパルスガンダムが立ち塞がるのだった。

両者の一騎打ちに勝るフリーダムガンダムが有利かと思われた。しかし、インパルスガンダムのパイロットであるシン・アスカが事前に攻撃パターン——コクピットは避け、武装がメインカメラを狙う——を分析していたこともあり、一進一退を繰り返す状況となっていた。フリーダムガンダムがインパルスガンダムの頭部を破壊し、戦闘は決着が付きかと思われた。しかし、インパルスガンダムは機体を換装するというシルエットシステムの特性を利用し、徐々にフリーダムガンダムを追い込んでいく。この状況にキラは敵の撃破を決意、コクピットを狙った攻撃を繰り返すがいずれも回避され、対艦刀で胴体を貫かれてしまう。この直後、フリーダムガンダムは大爆発を起こし、キラと共に海へと没するのだった。



※画像はイメージです。

PAINTING (塗装) ZGMF-X10A フリーダムガンダム Ver.2.0

※よりリアルに仕上げたい方は、下の基本色をご覧ください。
※塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

<p>本体等 ホワイト部の塗装色 ホワイト (100%) + グレー (少量)</p>	<p>肩等 レッド部の塗装色 モンザレッド (60%) + シャインレッド (40%)</p>	<p>アンテナの塗装色 イエロー (55%) + ホワイト (30%) + オレンジイエロー (15%)</p>
<p>胸部等 ダークブルー部の塗装色 ブルー (50%) + パープル (40%) + ブラック (10%)</p>	<p>フレーム等 グレー部の塗装色 グレー (80%) + ブラック (20%)</p>	<p>顔センサー等 クリアブルー部の塗装色 クリアブルー (100%)</p>
<p>翼等 ブルー部の塗装色 ホワイト (60%) + インディブルー (30%) + パープル (10%)</p>	<p>デュアルアイの塗装色 クリアイエロー (100%)</p>	<p>※カラー配合は参考値であり、画像とカラーガイドの色は異なる場合があります。 ※ここに掲載している情報は2016年4月現在のものです。</p>

キラ・ヤマト 制服/パイロットスーツ

<p>顔等の塗装色 ホワイト (60%) + 薄茶色 (40%)</p>	<p>インナー等 レッド部の塗装色 モンザレッド (60%) + シャインレッド (40%)</p>
<p>髪等の塗装色 ココアブラウン (100%)</p>	<p>シートベルト等 グリーン部の塗装色 ホワイト (60%) + エメラルドグリーン (30%) + テイタナグリーン (10%)</p>
<p>本体等 ホワイト部の塗装色 ホワイト (100%)</p>	
<p>本体等 ブルー部の塗装色 ホワイト (60%) + インディブルー (30%) + パープル (10%)</p>	
<p>袖等 ブラック部の塗装色 ミッドナイトブルー (100%)</p>	
<p>制服襟等 ライトグレー部の塗装色 ホワイト (40%) + すみれ色 (30%) + ミディアムブルー (30%)</p>	

ワンポイントステップ ~One point step~

スミ入れしてみよう!
ガンダムマーカー/スミ入れ用(別売り)などを使用して、キットのスジ彫りを塗装することで、立体感、リアル感が増します。スミ入れするだけで見違えるような仕上がりになります。

[before] [after]

ZGMF-X10A FREEDOM GUNDAM MECHANISM

ザフトの技術の粋を結集して開発されたフリーダムガンダムには、数々の革新的な機構が採用されている。特に大小10枚のパーツで構成されたウイングユニットによる大気圏内外での高度な機動性は本機の特徴のひとつと言える。



▲メインスラスタの左右に5基ずつ、計10基のパーツで構成される。コンピュータで制御され、大気圏内では空気抵抗を制御し、宇宙空間では質量移動を行うことで、姿勢制御のほか、加減速や急旋回といった高度な機動・運動性を発揮した。また、高機動空戦形態(HIGH Maneuver Aerial Tactical Mode)時には、各ウイングが展開する。

▲フリーダムのヘッドユニットは、地球軍から奪取した「G」系兵器を踏襲した形状となっている。高性能センサーが搭載されているほか、こめかみ部分にはMMI-GAU2 ビクス・76mm近接防御機関砲を装備。ゲイツなどにも採用されている実体弾兵器で、PS装甲には効果はないが、優れた速射性能で牽制や迎撃などに用いられた。

▶胸部中央にコクピットを備える。また、エアインテーク上部にはマルチセンサーを装備しており頭部のデュアルセンサーと合わせて高いセンサー性能を発揮した。また、左右の腰部にはMMI-M15 クスイフィアス・レール砲とMA-M01 ラケルタ・ビームサーベルを装備する。

MODEL NUMBER : ZGMF-X10A
Height : 18.03m
Weight : 71.5t

◀内部フレームイメージ▶
※組立直前に組み立てた場合には、この画像の様にはなりません。

※劇中の設定です。

Weapons ZGMF-X10A FREEDOM GUNDAM Armaments

- ▲クスイフィアス・レール砲は3分割に折り畳まれた砲身が展開。収納されたグリッブを引き出すことでホールド可能。
- ▲フルバーストモード時のキャノン砲の伸長、砲身上下の装甲展開などのオリジナルギミックを搭載。
- ▲ルプス・ビームライフルはフォアグリップを収納しリアアーマーへマウントが可能。

LAMINATED ANTI-BEAM SHIELD
MA-M20 Lupus Beam Rifle
MA-M01 Lacerta Beam Saber

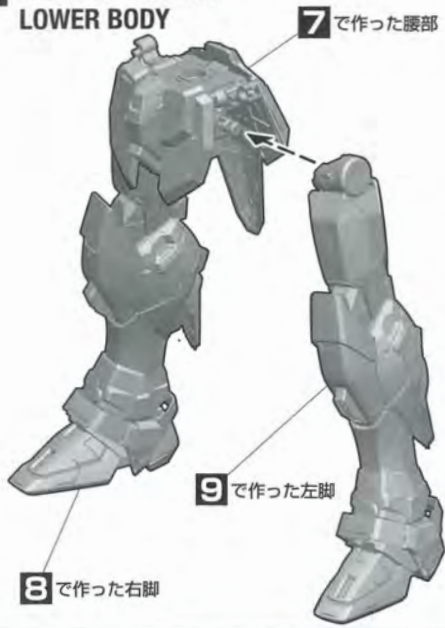
Check it! コスミック・イラを駆け抜けたキャラクターたち

キラ・ヤマト
アスランとの戦いで、爆発する機体から救助された彼はプラントへと送られ、クライン邸に匿われていた。戦うことの意味を自問する彼に、アークエンジェルが窮地に追い込まれているという知らせが届く。彼は仲間を守るために再び戦う決意を固めると、ラクスから託されたフリーダムガンダムを駆り、地球へと赴くのだった。

アスラン・ザラ
プラントに帰国した後、ラクスと接触したアスランは、彼女との会話の中で自身は何のために戦っていたのかに気付く。そして、フリーダム奪還の任を授け、再び向かった地球でキラと再会したアスランは彼らとの共闘を決意する。ザフトから離脱した彼は、エターナルをはじめとする第三勢力の一員として、戦争終結に力を尽くした。

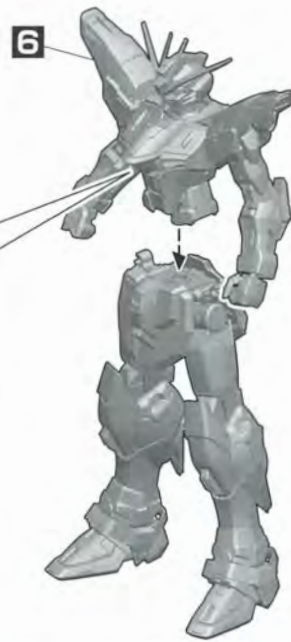
ラクス・クライン
オーブ近海での戦闘で心身ともに傷を負ったキラを匿い、その回復を見守ると共に、彼に再起の切っ掛けを与える。そして自身も国家反逆罪に問われるが、プラント市民に反戦メッセージを送り続けるなどの活動を続け、アスランにも戦いの意味を気付かせる。また、奪取したエターナルに搭乗、戦場に身を置きキラたちと共に戦った。

10 (下半身の完成)
LOWER BODY



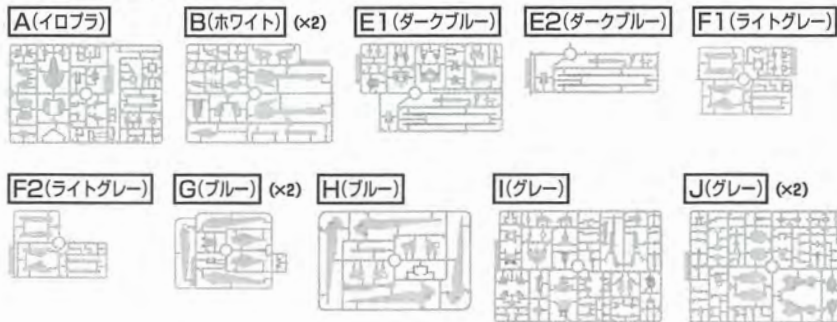
11 (完成)
FINAL ASSEMBLY

〈コクピットハッチの開けかた〉



12 **13** RAIL GUN / WING UNIT

・組立**12**・**13**で使用するパーツ

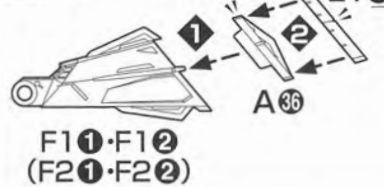


・カラーシール

12 (1) **2** (レール砲の組立)
RAIL GUN



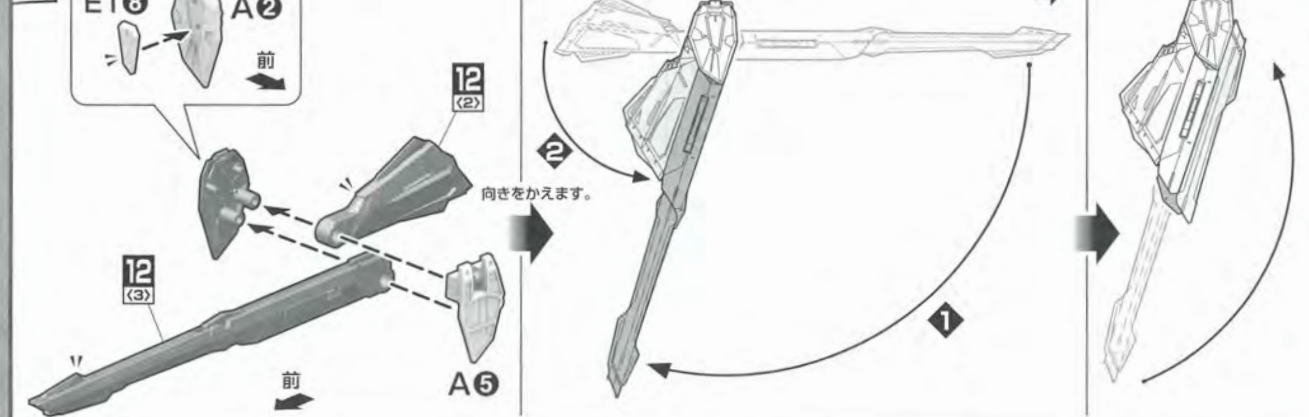
12 (2) **2** 〈横から見た図〉 (E2 6) E1 6



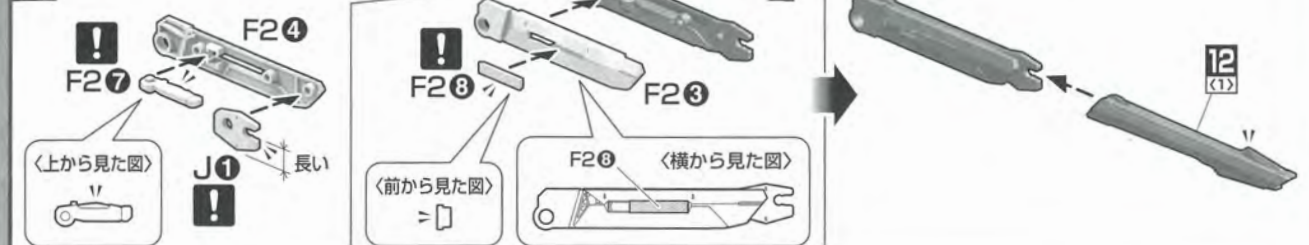
12 (3) (右側)



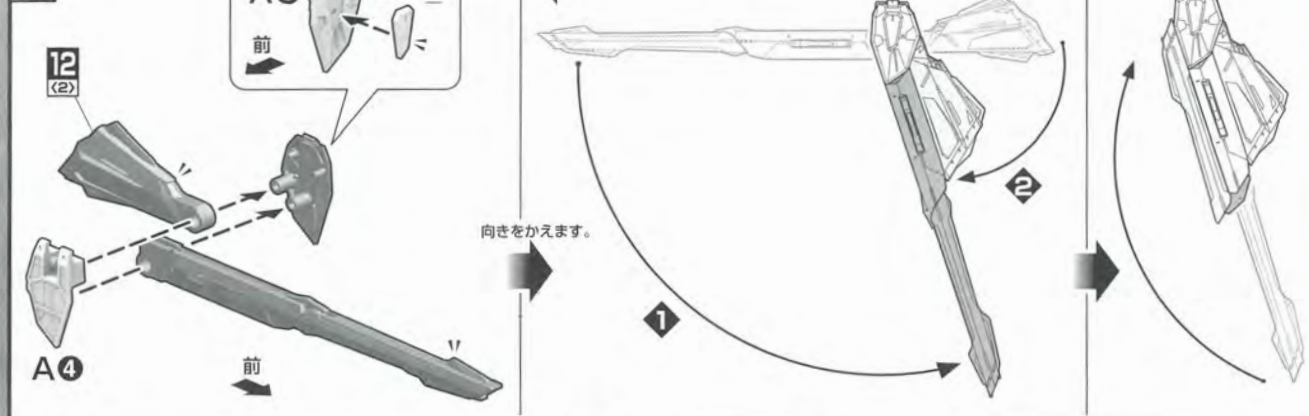
12 (4)



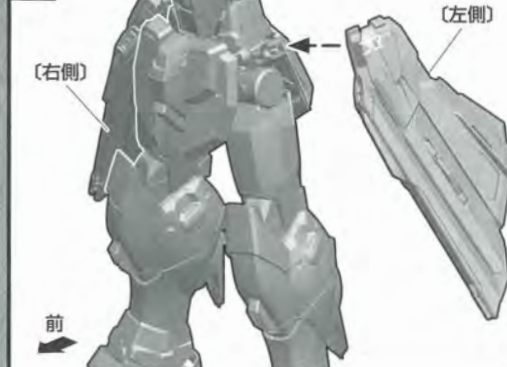
12 (5) (左側)



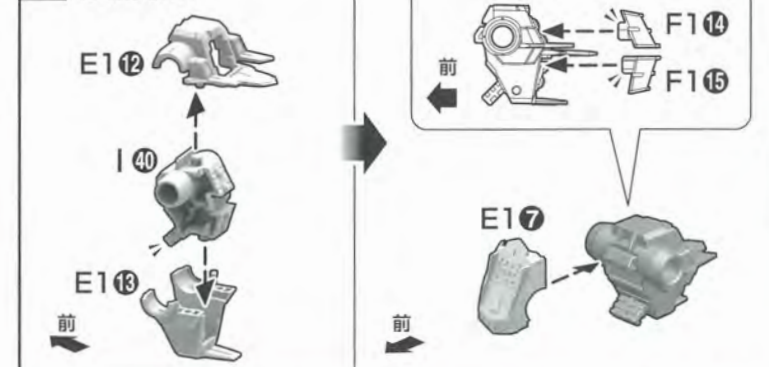
12 (6)



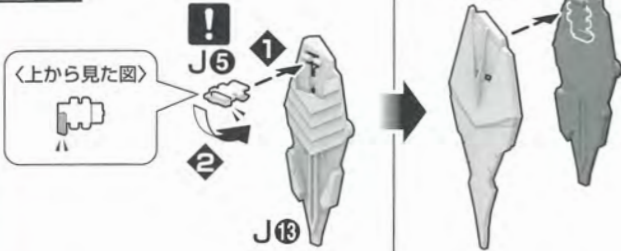
12 (7)



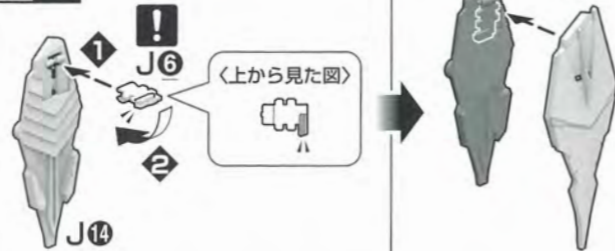
13 (1) (ウイングユニットの組立)
WING UNIT



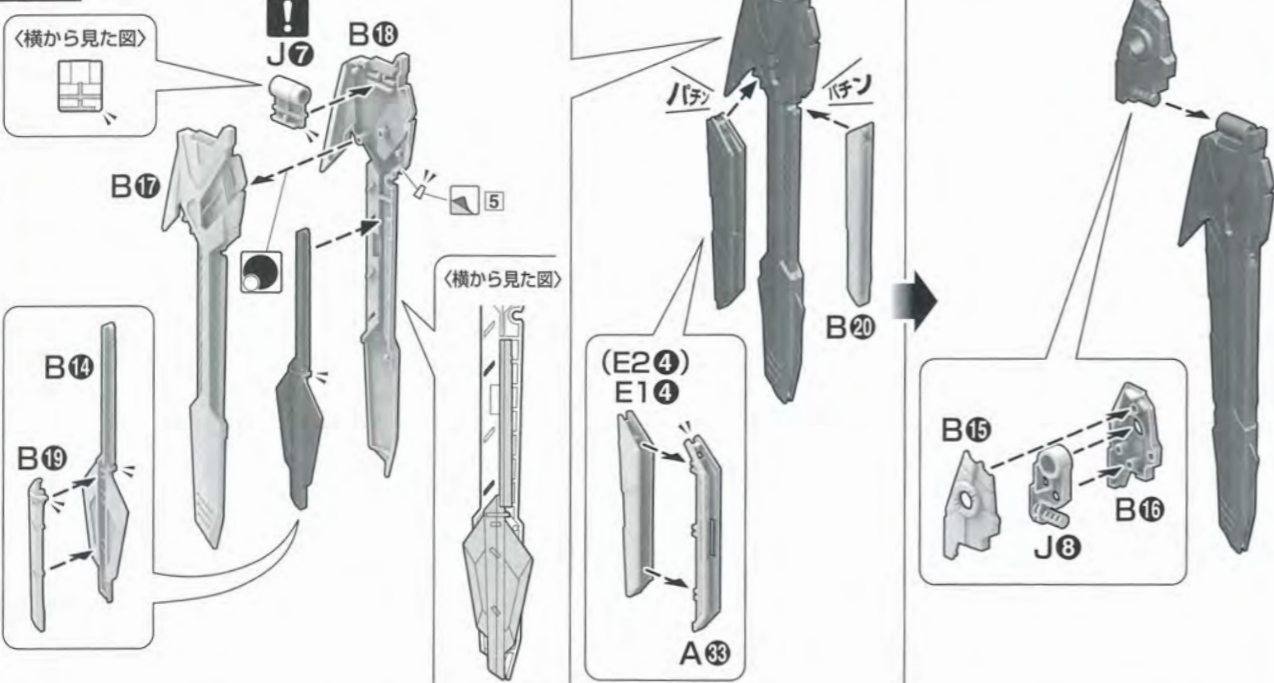
13
(2) x2



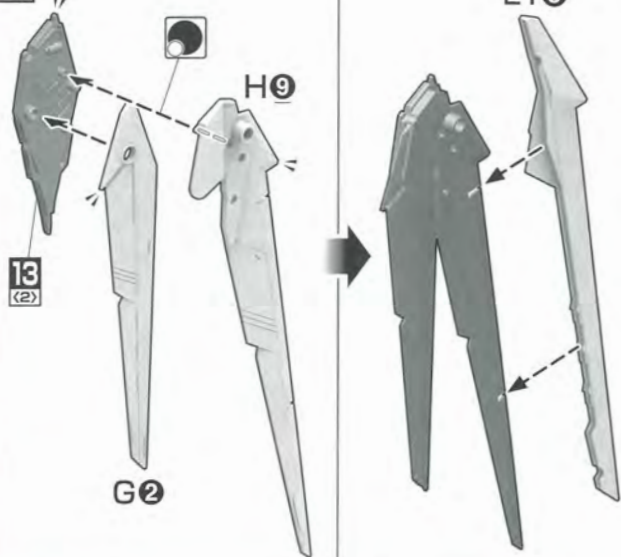
13
(3) x2



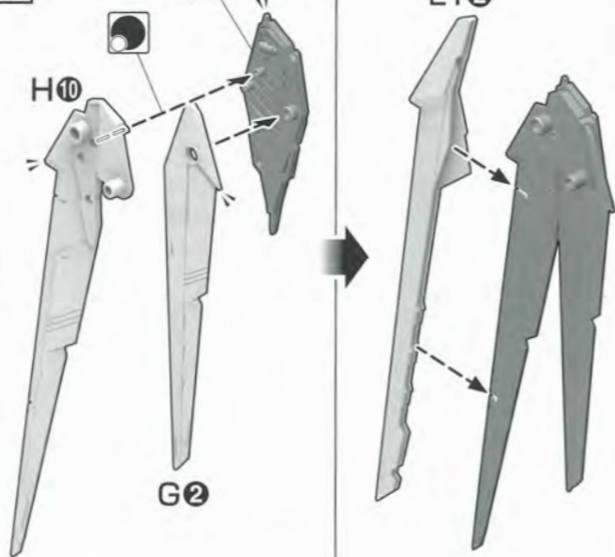
13
(4) x2



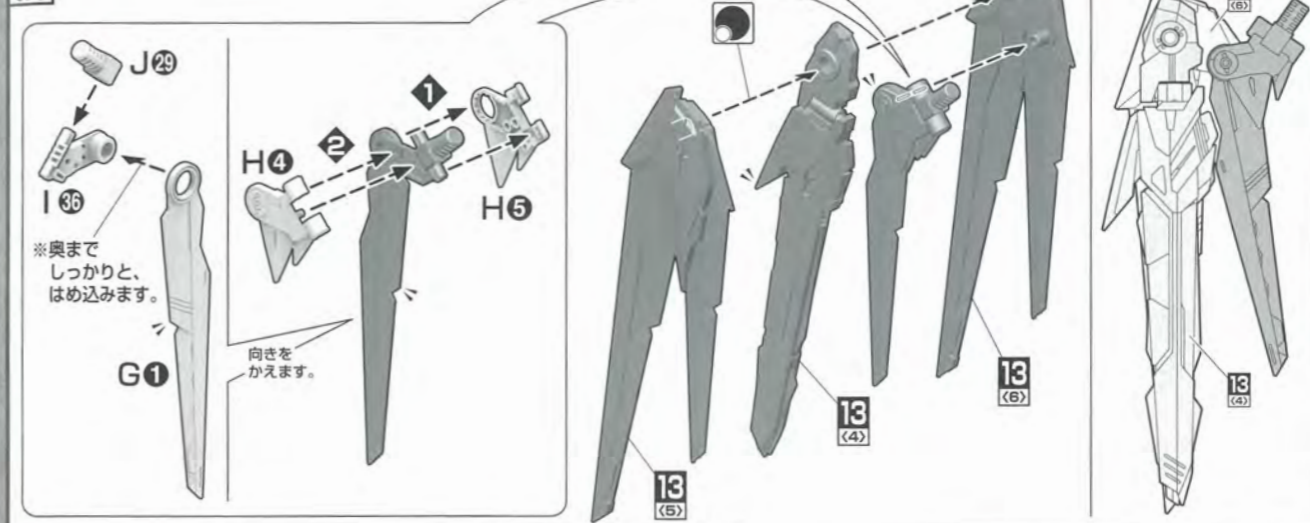
13
(5) (右側)



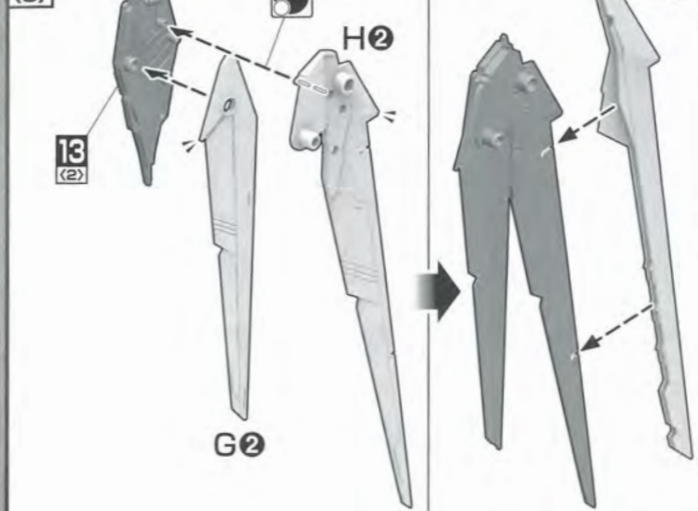
13
(6)



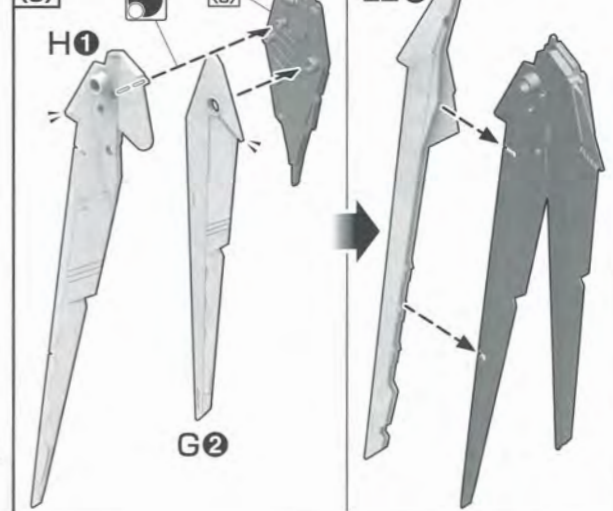
13
(7)



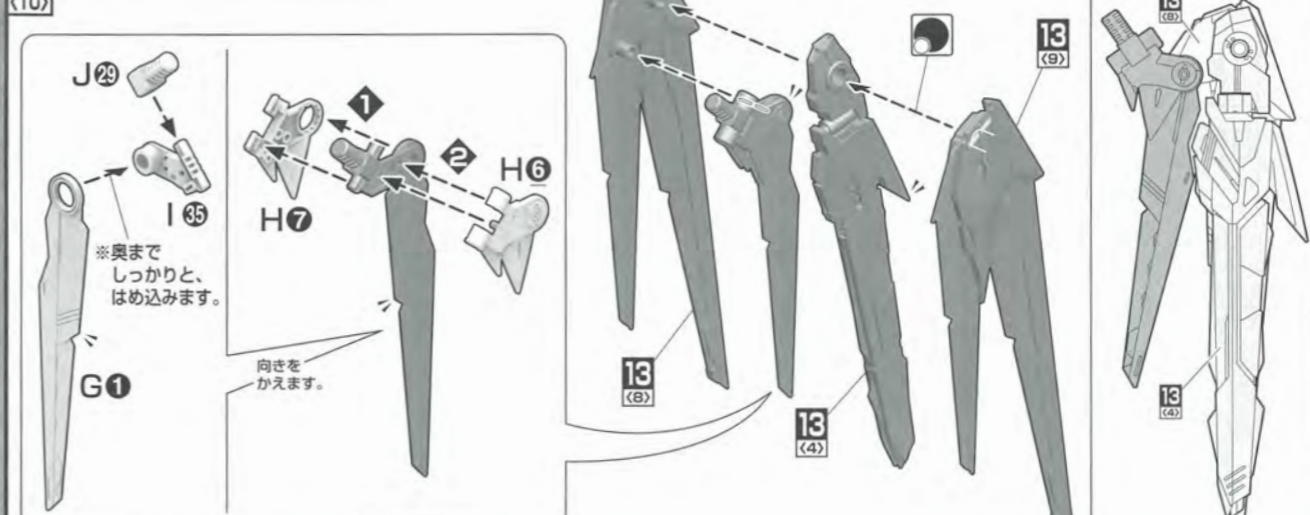
13
(8) (左側)

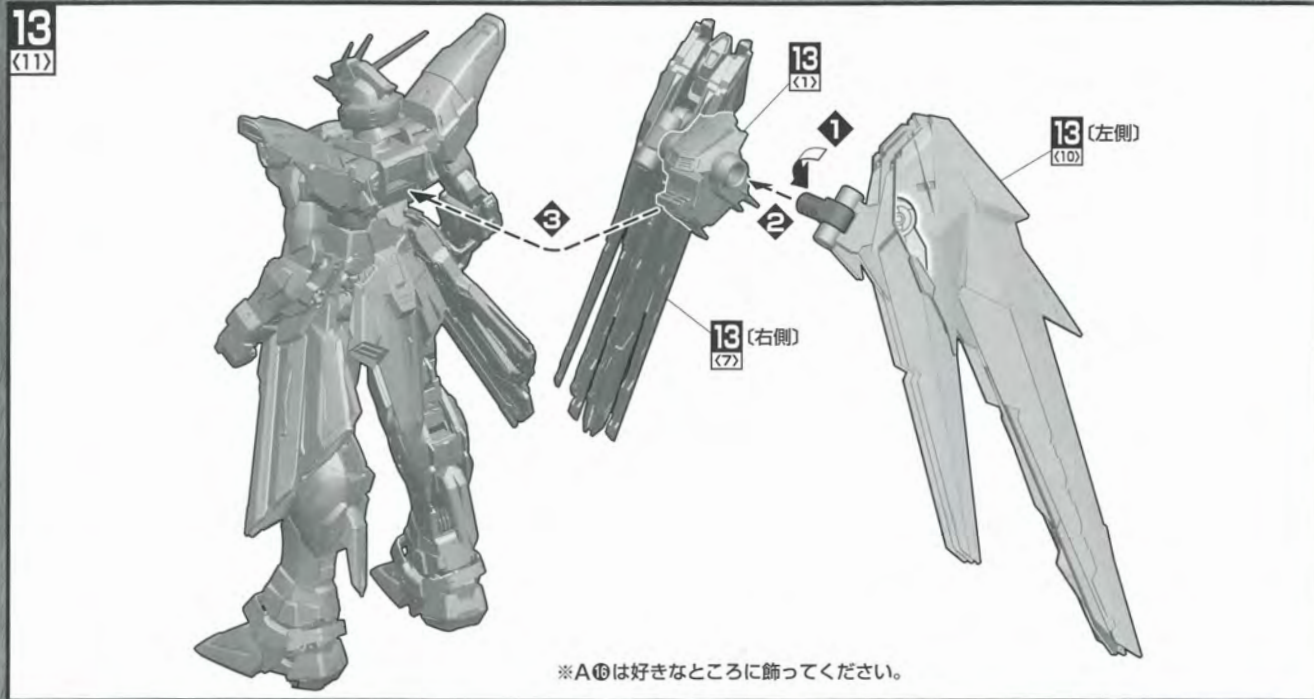


13
(9)



13
(10)

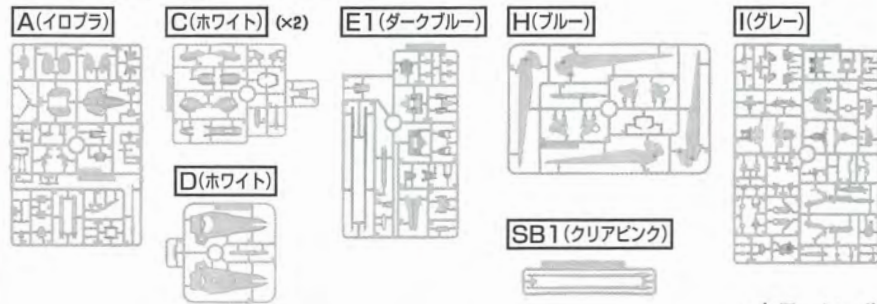




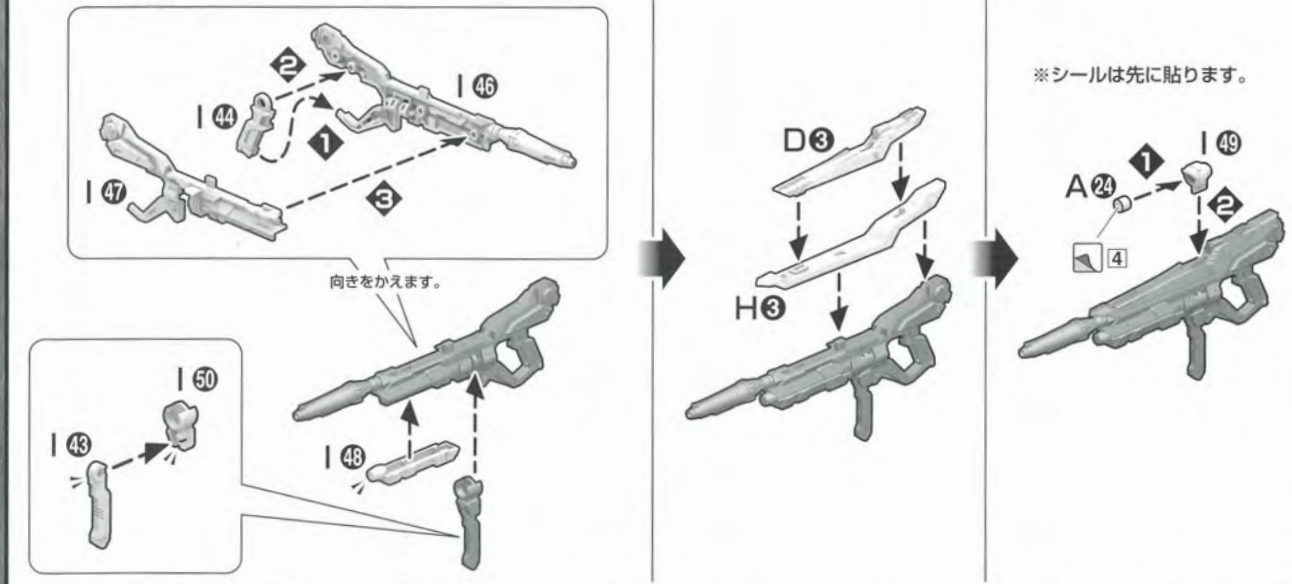
14 15 16 WEAPONS



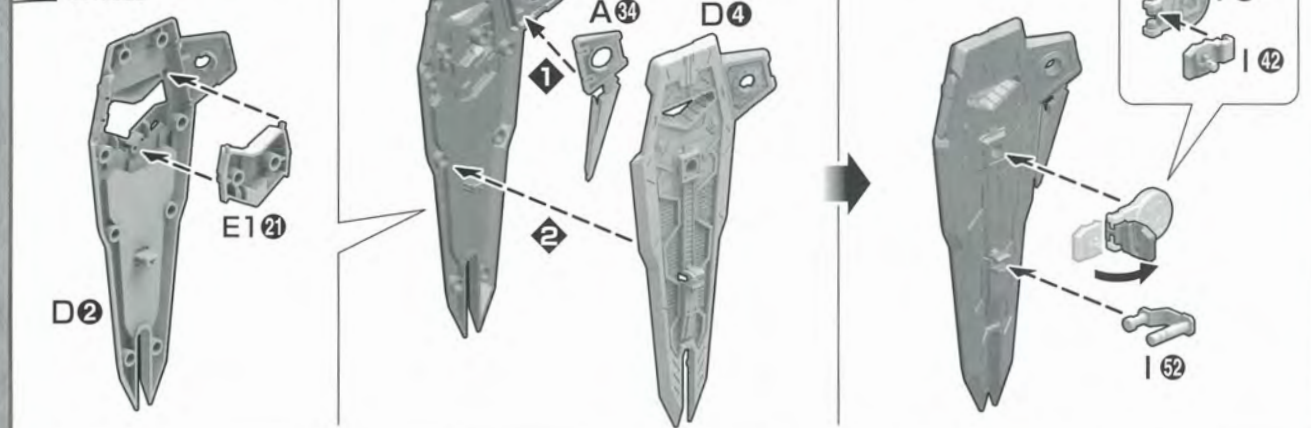
・組立14・15・16で使用するパーツ



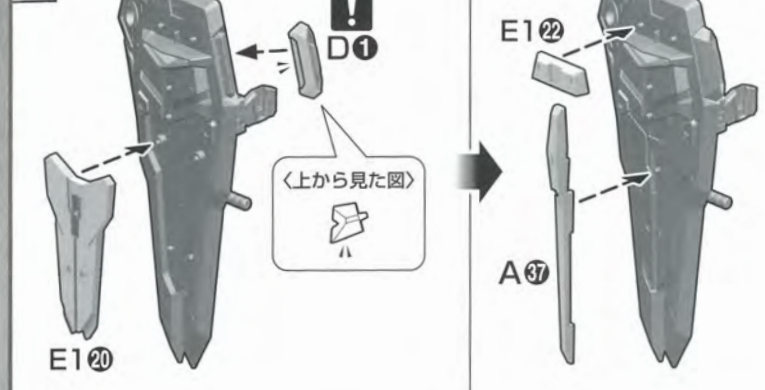
14 [ビームライフルの組立]
BEAM RIFLE



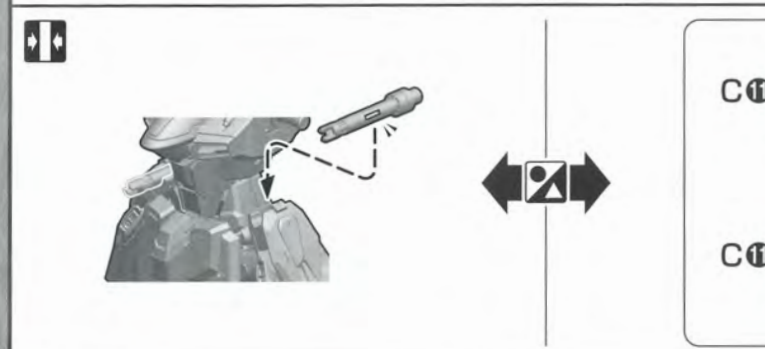
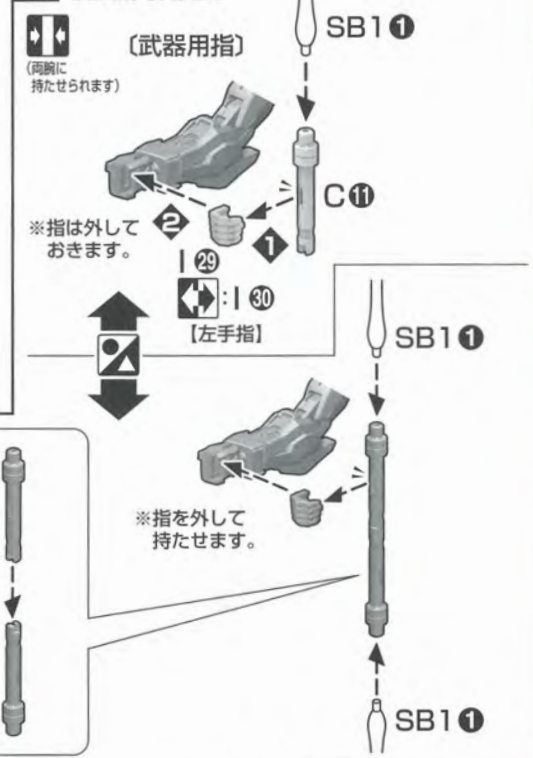
15 [シールドの組立]
(1) SHIELD



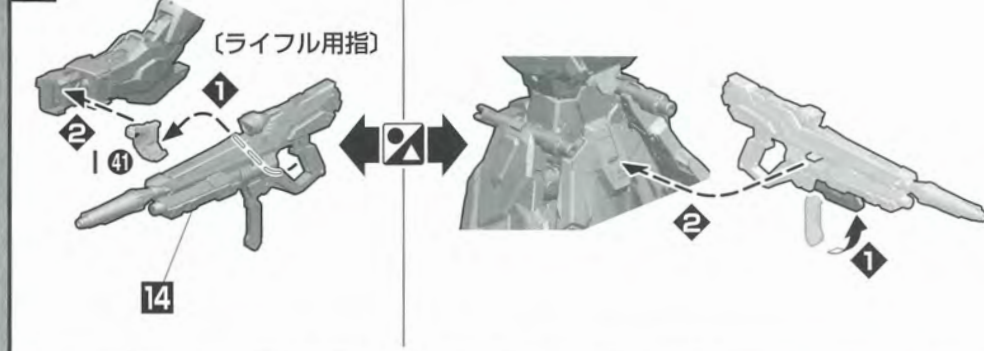
15
(2)



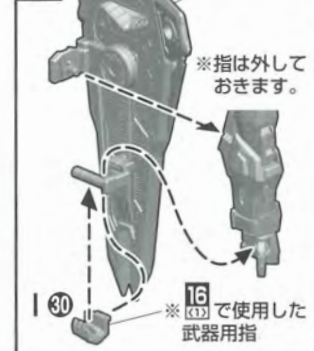
16 [ビームサーベルの組立]
(1) BEAM SABER



16
(2)



16
(3)



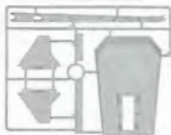
17 DISPLAY BASE

・組立17で使用するパーツ

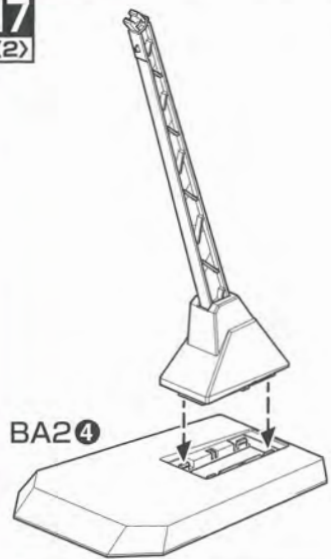
1 (グレー)



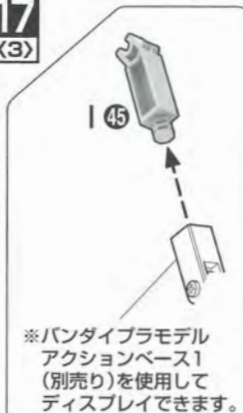
BA2 (ブラック)



17 (2)



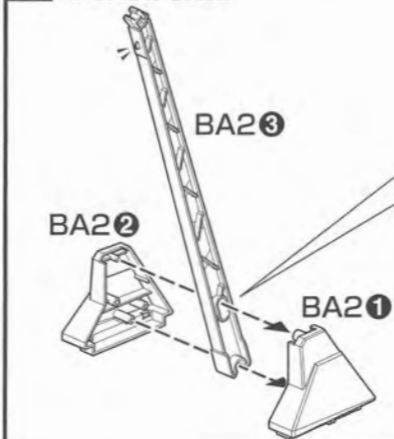
17 (3)



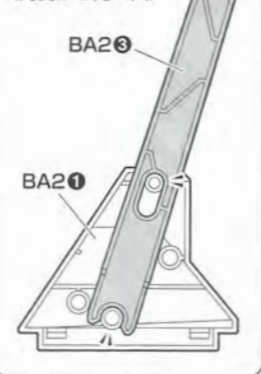
※バンダイプラモデルアクションベース1 (別売り) を使用してディスプレイできます。

17 (専用台座の組立)

DISPLAY BASE



〈内側から見た図〉



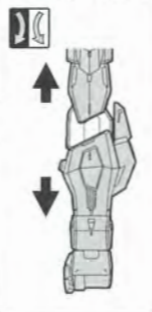
※肩の可動範囲が広がります。



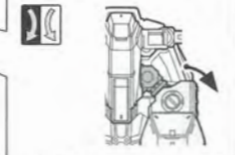
※つま先の可動範囲が広がります。



※腕の可動範囲が広がります。



※足の可動範囲が広がります。



※説明のため、一部イラストを省略しています。

※画像の完成品は塗装してあります。

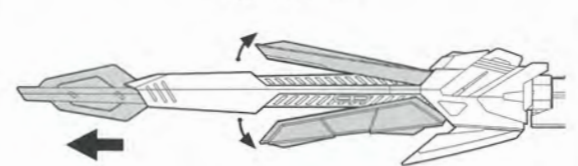
※組立図中の記号説明
 どちらかを選んで取りつける
 両側を同じように動かす

18 (ウイング収納時のキャノン砲展開)

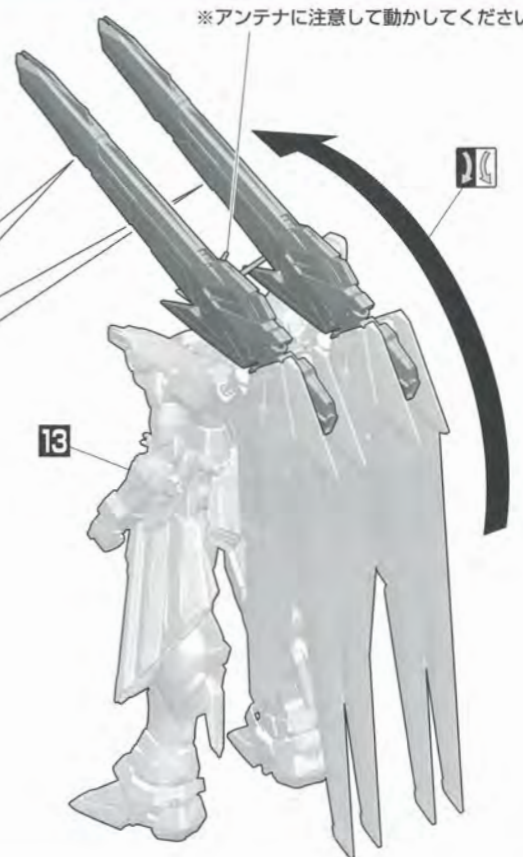
18 (1)

〈キャノン砲のギミック〉

〈横から見た図〉



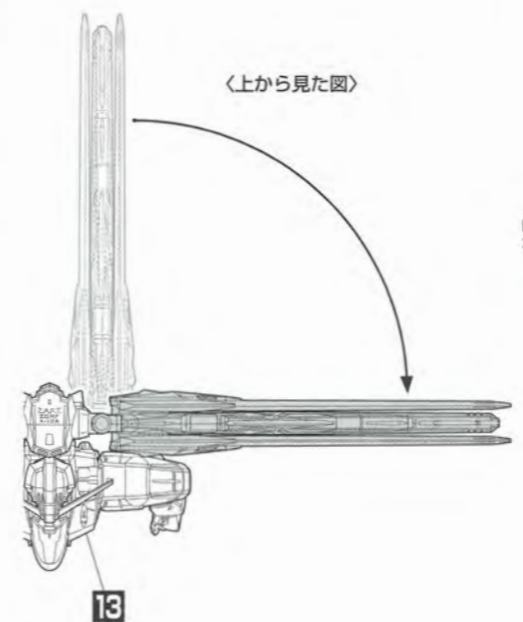
※アンテナに注意して動かしてください。



18 (ハイマツモード)

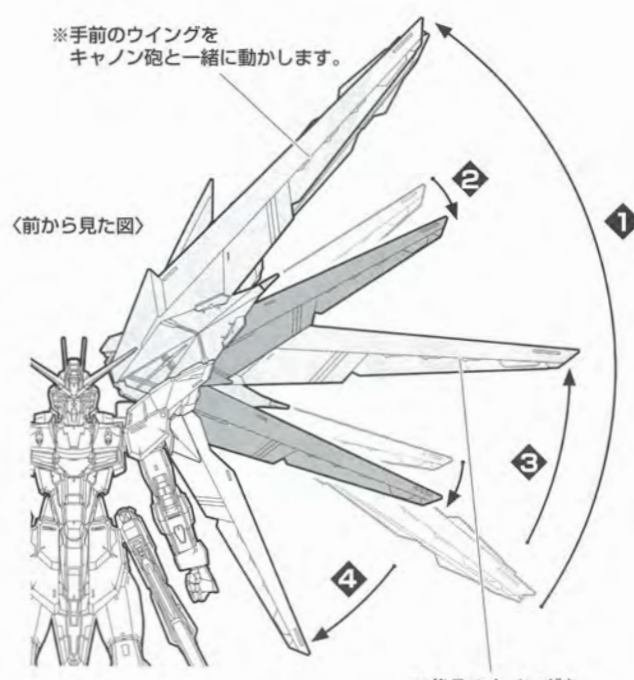
18 (2)

〈上から見た図〉



※手前のウイングをキャノン砲と一緒に動かします。

〈前から見た図〉



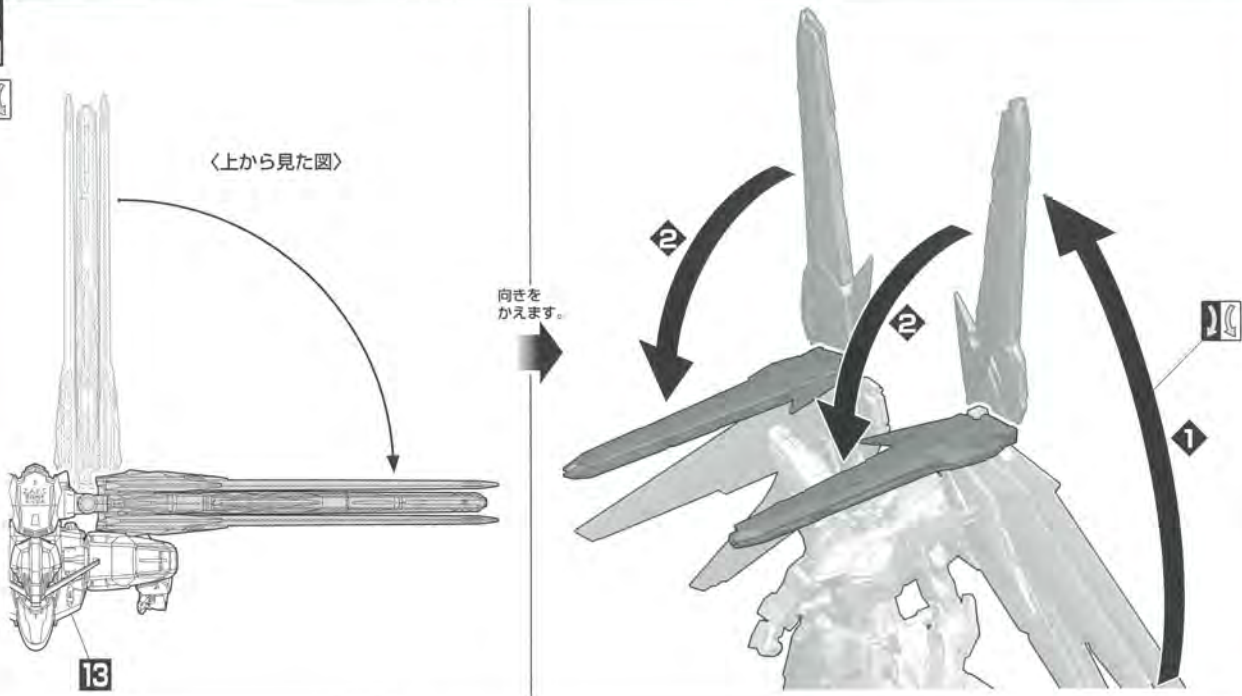
※後ろのウイングを図の位置にします。

※組立図中の記号説明
 両側を同じように動かす



〈上から見た図〉

向きをかえます。



〈横から見た図〉

※**18** 〈ウイング収納時のキャノン砲展開〉を参考にキャノン砲を展開してください。

※アンテナに注意して動かしてください。

※**18** 〈ハイマイトモード〉を参考にウイングを展開してください。

※画像の完成品は塗装してあります。

(武器用指)

※組立図中の記号説明

両側を同じように動かす

Seal

下の図を見て、マーキングシールやガンダムデカールの貼る位置を確認してください。

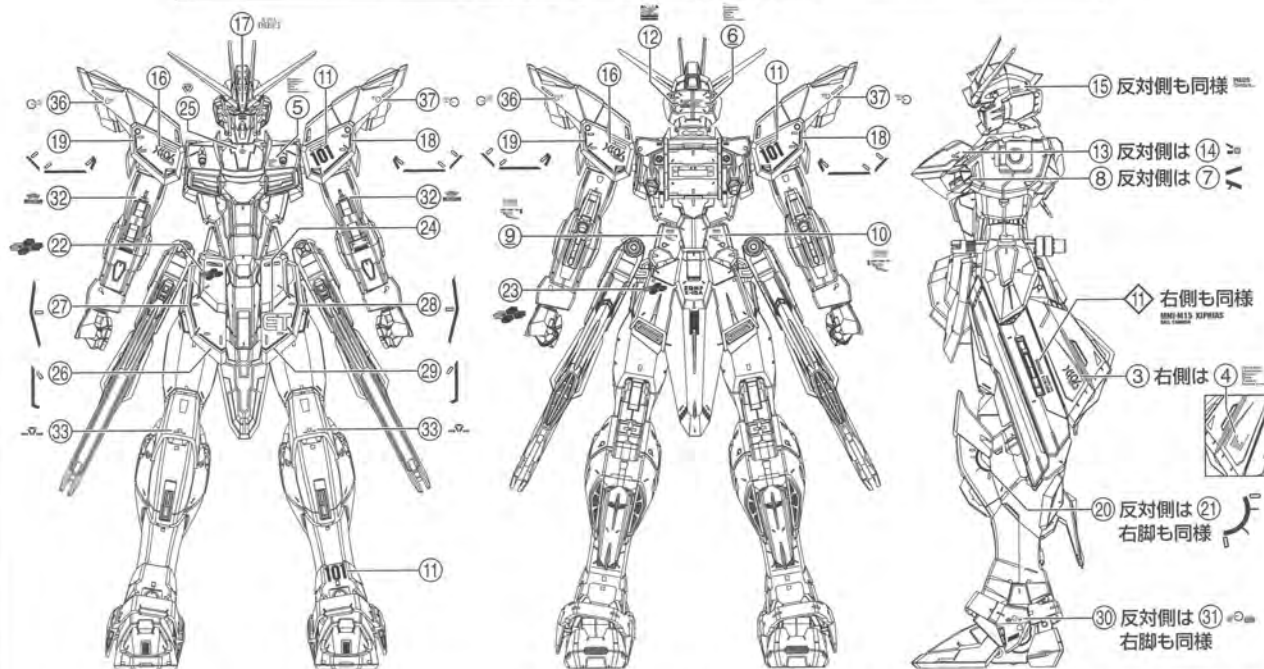
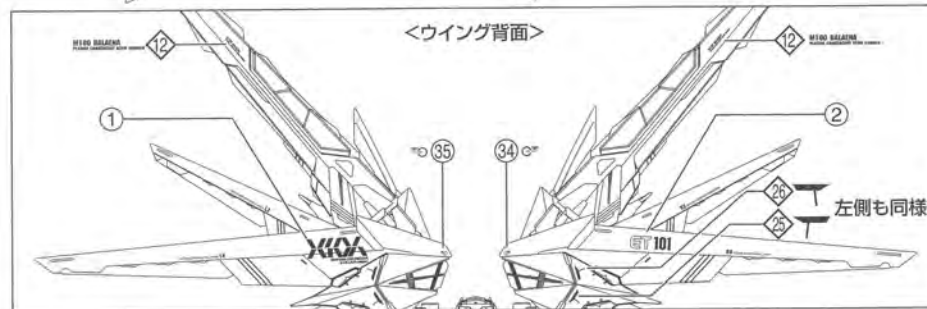
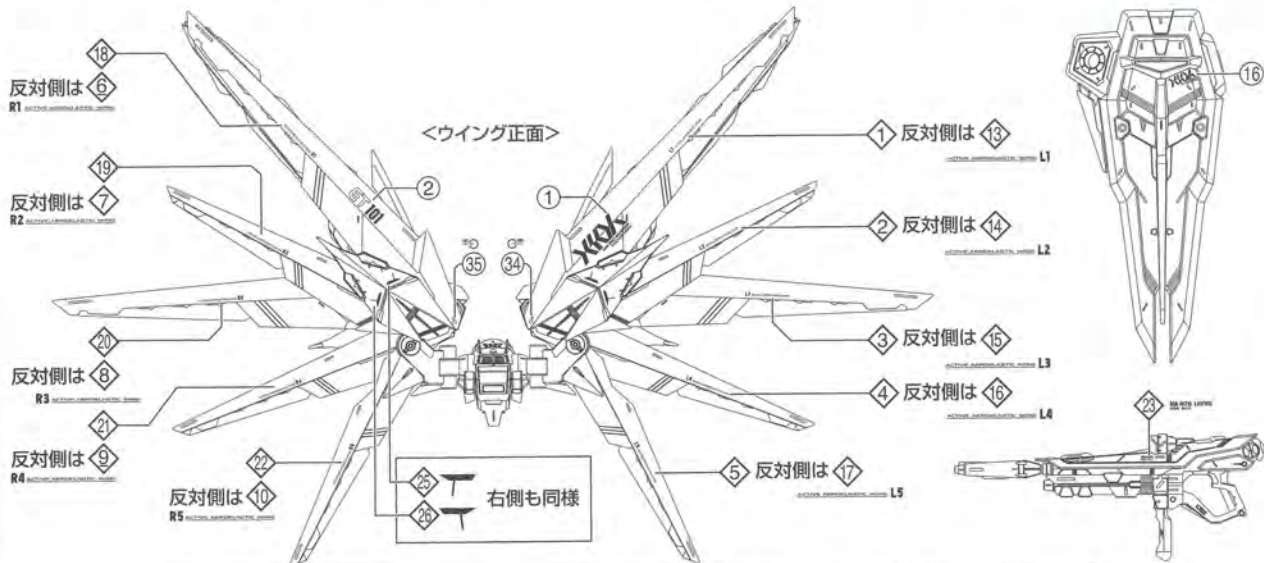
マーキングシールは○に数字
ガンダムデカールは◇に数字で表記してあります。

【例】①・・・マーキングシール ◇・・・ガンダムデカール

【ガンダムデカールの貼りかた】※P3のガンダムデカールの貼り方を参考に
あせらずゆっくり貼ってください。

1. 転写するマークを大きめに切り取ります。
2. 転写する場所に軽く押さえ、ボールペン等の先の丸い物で上から軽くこすりつけます。
3. シート部分を静かにはがし、転写していない部分があれば、もう一度転写していない部分をこすり取ります。

このマーキングシール及びガンダムデカールはプラモデルオリジナルのもので、貼り指示は一例ですのでイメージに合わせてお貼りください。



※余ったマーキングシールやガンダムデカールは好きな所に貼ってください。 ※説明のため、一部画像を省略しています。 ※画像と実際の商品とは多少異なります。